

授業科目		対象学科・専攻		ナンバリング	年次	期別
宗教学 Religion		全学科		23BAHU1001	1年次	前期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業 認定	担当教員			実務家 教員
講義	2	選択	島田 一道			
ディプロマ ポリシー との関係	何事にも誠実に取り組み、豊かな表現力と知識を持ち、誠実にコミュニケーションをとることができる社会人としてふさわしい人間性を有するとともに、専門的職業人の資質と能力を持ち合わせて、地域とともに成長していくことができる者に短期大学士の学位を授与する。					○
概 要	この講義の目標は宗教を知ることである。世界には数多くの宗教が存在し、その形態もさまざまである。日本においてもこれまでいくつもの宗教が誕生して、他国からも伝わってきている。まずはそれらを概観していく。そして、日本人はこれまで宗教とどのように関係してきたのか、それを歴史や文化の中からうかがっていく。 そして、現代に生きる我々がこれからどう宗教と向き合っていくのかを探っていきたい。					
到達目標	(1) 世界三大宗教（特に仏教）を知り、その内容を説明することができる。 (2) 日本における宗教の歴史を説明することができる。 (3) 浄土真宗や親鸞のことを説明することができる。					
授業内容 と 進め方	回	授業内容	予習内容	予習 時間	復習内容	復習 時間
	1	宗教とは何か	宗教全般について調べてくる。	2時間	授業の振り返りを行う。	2時間
	2	キリスト教	配布資料を読み込み、キリスト教について調べてくる。	2時間	授業の振り返りを行う。	2時間
	3	イスラム教	配布資料を読み込み、イスラム教について調べてくる。	2時間	授業の振り返りを行う。	2時間
	4	釈尊の生涯と仏教の誕生	教科書（講義時に指示）を読み込み、釈尊について調べてくる。	2時間	授業の振り返りを行う。	2時間
	5	仏教 その1	教科書（講義時に指示）を読み込み、仏教について調べてくる。	2時間	授業の振り返りを行う。	2時間
	6	仏教 その2	教科書（講義時に指示）を読み込み、仏教について調べてくる。	2時間	授業の振り返りを行う。	2時間
	7	仏教の伝播（インド→中国→日本）	教科書（講義時に指示）を読み込み、仏教について調べてくる。	2時間	授業の振り返りを行う。	2時間
	8	日本宗教史 その1（古代～）	配布資料を読み込み、日本宗教史（古代～）について調べてくる。	2時間	授業の振り返りを行う。	2時間
	9	日本宗教史 その2（中世～）	配布資料を読み込み、日本宗教史（中世～）について調べてくる。	2時間	授業の振り返りを行う。	2時間
	10	日本宗教史 その3（近世～）	配布資料を読み込み、日本宗教史（近世～）について調べてくる。	2時間	授業の振り返りを行う。	2時間
11	親鸞の生涯と浄土真宗の誕生 その1	教科書（講義時に指示）を読み込み、親鸞の生涯（前半）について調べてくる。	2時間	授業の振り返りを行う。	2時間	

	12	親鸞の生涯と浄土真宗の誕生 その2	教科書（講義時に指示） を読み込み、親鸞の生涯 （後半）について調べて くる。	2時間	授業の振り返りを行 う。	2時間
	13	浄土真宗 その1	教科書（講義時に指示） を読み込み、浄土真宗に ついて調べてくる。	2時間	授業の振り返りを行 う。	2時間
	14	浄土真宗 その2	教科書（講義時に指示） を読み込み、浄土真宗に ついて調べてくる。	2時間	授業の振り返りを行 う。	2時間
	15	まとめ	過去14回の講義内容 を振り返ってくる。	2時間	授業の振り返りを行 う。	2時間
成績評価	定期試験（100%）					
課題（試験・レポート等） に対する フィードバックの方法	試験において、ルーブリック評価の結果を渡す。					
テキストおよび 参考文献	『高校生からの仏教入門－釈尊から親鸞聖人へ－』小池秀章 著 本願寺出版社 2009年					
メッセージ な ど	皆さんにとって「宗教」とはどんなイメージですか。そして、生きていく中で「宗教」を必要だと感じますか。 様々な宗教を知ることを通してこれらの問いを共に考えていきましょう。					

ルーブリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) 世界三大宗教（特に仏教）を知り、その内容を説明することができる。	ほぼ完璧にできる。	大きな間違いがなく、基本を説明することができる。	多少間違えるが、最低限の基本は説明できる。	説明できない。	定期試験（知識・理解）	35%
(2) 日本における宗教の歴史を説明することができる。	ほぼ完璧にできる。	大きな間違いがなく、基本を説明することができる。	多少間違えるが、最低限の基本は説明できる。	説明できない。	定期試験（知識・理解）	35%
(3) 浄土真宗や親鸞のことを説明することができる。	ほぼ完璧にできる。	大きな間違いがなく、基本を説明することができる。	多少間違えるが、最低限の基本は説明できる。	説明できない。	定期試験（知識・理解）	30%

授業科目		対象学科・専攻		ナンバリング	年次	期別
生活と芸術 Life and Art		全学科		23BAHU1002	1年次	後期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業 認定	担当教員			実務家 教員
講義	2	選択	田中 奏子 他			
ディプロマ ポリシー との関係	何事にも誠実に取り組み、豊かな表現力と知識を持ち、誠実にコミュニケーションをとることができる社会人としてふさわしい人間性を有するとともに、専門的職業人の資質と能力を持ち合わせて、地域とともに成長していくことができる者に短期大学士の学位を授与する。					○
概 要	芸術は生活分野から切り離すことが出来ない。芸術とは特定の芸術家だけの特権ではないし、高尚な芸術作品を美術館で鑑賞することや、クラシカルな演奏会へ行くことだけでもない。「生活と芸術」とは、“生活に密着した芸術”であり、“生活に役立つ芸術”、“生活を豊かにする為の芸術”であるとも言える。ここでは、日本の伝統文化の一つである華道、様々なジャンルの音楽、五感に触れる造形作品、絵手紙、カード制作をする中で、生活の中に芸術を取り入れるセンスと方法、技術を身につける。世界でたった一つの自分の作品を制作する喜びと達成感を味わう。					
到達目標	(1) 身近に「芸術」を取り入れて生活を豊かにするための感性を養うことができる。					
	(2) 自分や周囲の人の生活に彩りを与え豊かにするための「感性を磨く意欲」を高める事ができる。					
	(3) 生活の中で「使う、飾る、プレゼントする」目的で作品を描き、制作する事ができる。					
	回	授業内容	予習内容	予習 時間	復習内容	復習 時間
	1	オリエンテーション ー生活と芸術とはー 授業について			「生活と芸術」の関係について、自分の考えをまとめる	2時間
	2	花に触れる① ーいけばなの基礎ー	事前に配布したプリント資料を読んでくる	2時間	ワークシートに基づき振り返る	2時間
	3	絵手紙の制作① ー絵手紙とはー 落款の制作	「絵手紙」について調べてくる	2時間	落款の試し押しを試してみる	2時間
	4	花に触れる② ー伝統から自由花へー	事前に配布したプリント資料を読んでくる	2時間	ワークシートに基づき振り返る	2時間
	5	絵手紙の制作② 墨で練習してみよう ー良い線とは、顔彩とはー 線の練習 葉っぱを描こう	前時に配布したプリントを読んでおく（静物画について）	2時間	墨と顔彩、落款のバランスがうまくとれているか検討する	2時間
	6	芸術鑑賞① ークラシック音楽(1) バロック・古典派ー	クラシック音楽の指定された時代の中から1曲リストアップしてくる	2時間	授業を振り返り自分の考えをまとめ復習する	2時間
7	絵手紙の制作③ 季節の果物を描いてみよう	前時に配布したプリントを読んでおく（静物画について）	2時間	果物の絵の構図について検討する	2時間	
8	芸術鑑賞② ークラシック音楽(2) ロマン派・近現代ー	クラシック音楽の指定された時代の中から1曲リストアップしてくる	2時間	授業を振り返り自分の考えをまとめ復習する	2時間	

	9	絵手紙の制作④ Xmas カードを描いて送ってみよう	クリスマスカードのアイデアスケッチをする	2時間	様々なカードの種類について調べる	2時間
	10	芸術鑑賞③ ー世界の音楽(1) 様々なジャンルに触れるー	クラシック音楽の指定された時代の中から1曲リストアップしてくる	2時間	授業を振り返り自分の考えをまとめ復習する	2時間
	11	絵手紙の制作⑤ 年賀状を書いてみよう	年賀状のアイデアスケッチをする	2時間	様々な干支の絵を調べる	2時間
	12	芸術鑑賞④ ー世界の音楽(2)映画音楽とクラシック音楽の関係ー	クラシック音楽の指定された時代の中から1曲リストアップしてくる	2時間	授業を振り返り自分の考えをまとめ復習する	2時間
	13	絵手紙の制作⑥ 字手紙を描いてみよう	字手紙について調べておく	2時間	字の画面に対する入れ方を検討する	2時間
	14	プレゼンテーション ー「私」と音楽ー	好きな1曲についてプレゼンテーションの準備をしてくる	2時間	授業を振り返り自分の考えをまとめ復習する	2時間
	15	絵手紙の制作⑦ 額縁に入れてみよう	額縁に入れる効果について考える	2時間	展示した作品の鑑賞をお互いにする	2時間
成績評価	作品 (40%)、授業への取り組み (60%)					
課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法						
テキストおよび参考文献	テキスト：なし (プリントを随時配布)					
メッセージなど	田中担当授業回：花材費として、1000円程度必要です。それ以上かかることはありません。詳しくは初回授業日に説明します。					

ルーブリック評価を用いた成績評価

到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) 身近に「芸術」を取り入れて生活を豊かにするための感性を養うことができる。	生活の中の「芸術」を理解し、生活を豊かにするための感性を養うことができる能力が十分にある。	生活の中の「芸術」を理解し、生活を豊かにするための感性を養うことができる能力がある。	生活の中の「芸術」を概ね理解し、生活を豊かにするための感性を養うことができる能力がある。	生活の中の「芸術」を理解できず、生活を豊かにするための感性を養うことができない。	作品 (知識・理解・技能・判断力・作品の完成度)	10%
	生活の中の「芸術」を理解し、生活を豊かにするための感性を養うことができる能力が十分にある。	生活の中の「芸術」を理解し、生活を豊かにするための感性を養うことができる能力がある。	生活の中の「芸術」を概ね理解し、生活を豊かにするための感性を養うことができる能力がある。	生活の中の「芸術」を理解できず、生活を豊かにするための感性を養うことができない。	授業への取り組み (関心・意欲・態度)	10%
(2) 自分や周囲の人の生活に彩りを与え豊かにするための「感性を磨く意欲」を高める事ができる。	生活の中に「芸術」を取り入れるための感性を磨く意欲が十分にある。	生活の中に「芸術」を取り入れるための感性を磨く意欲がある。	不十分ではあるが生活の中に「芸術」を取り入れるための感性を磨く意欲がある。	生活の中に「芸術」を取り入れることができる感性を磨く意欲がない。	授業への取り組み (関心・意欲・態度)	50%
(3) 生活の中で「使う、飾る、プレゼントする」目的で作品を描き、制作する事ができる。	実際に使用したり、飾ったり、誰にでもプレゼントできるような作品を制作することができる。	実際に使用したり、飾ったり、知人であればプレゼントできるような作品を制作することができる。	人にプレゼントはできないかもしれないが、飾ったり、使用できる作品を制作することはできる。	実際に使用したり、飾ったり、人にプレゼントできるような作品を制作することができない。	作品 (知識・技能・創造性・表現力・作品の完成度)	30%

授業科目		対象学科・専攻		ナンバリング	年次	期別
余暇生活論 Study on Leisure Life		全学科		23BAHU1003	1年次	前期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業 認定	担当教員			実務家 教員
講義	2	選択	正長 清志			
ディプロマ ポリシー との関係	何事にも誠実に取り組み、豊かな表現力と知識を持ち、誠実にコミュニケーションをとることができる社会人としてふさわしい人間性を有すとともに、専門的職業人の資質と能力を持ち合わせて、地域とともに成長していくことができる者に短期大学士の学位を授与する。					○
概 要	人間と社会のあり方を余暇生活というプラットフォームから見つめ、学習者一人ひとりが、これからの豊かなライフスタイルを創造していくことをねらいとして、余暇生活の概要、余暇生活のデザインを創造していく。					
到達目標	(1) 余暇生活、余暇活動についての基本を説明することができる。 (2) 各自が余暇生活を振り返り、自らの余暇生活を他者に説明できる。 (3) 余暇生活に関わる身近な問題について、自分の考えや意見を述べるができる。					
授業内容 と 進め方	回	授業内容	予習内容	予習 時間	復習内容	復習 時間
	1	授業ガイダンス自らのライフスタイルを振り返る			配付資料1	2時間
	2	少子高齢社会における余暇生活について	配付資料1	2時間	配付資料2	2時間
	3	余暇生活とレクリエーション①	配付資料2	2時間	配付資料3	2時間
	4	余暇生活とレクリエーション②	配付資料3	2時間	配付資料4	2時間
	5	余暇生活とレクリエーション③	配付資料4	2時間	配付資料5	2時間
	6	余暇生活能力の向上に必要なこと①	配付資料5	2時間	配付資料6	2時間
	7	余暇生活能力の向上に必要なこと②	配付資料6	2時間	配付資料7	2時間
	8	余暇生活能力の向上に必要なこと③	配付資料7	2時間	配付資料8	2時間
	9	自らのライフスタイルを振り返る報告会	配付資料8	2時間	配付資料9	2時間
	10	余暇生活を創造する①個人・グループ作業 テーマ「豊かな学生生活を送るために」	配付資料9	2時間	配付資料10	2時間
	11	余暇生活を創造する②個人・グループ作業 参考文献・先行研究の調査	配付資料10	2時間	配付資料11	2時間
	12	余暇生活を創造する③個人・グループ作業 これまでの情報・調査収集のまとめ	配付資料11	2時間	配付資料12	2時間
	13	今後の創造的な余暇生活をめざして	配付資料12	2時間	配付資料13	2時間
	14	グループディスカッション①	配付資料13	2時間	配付資料14	2時間
15	グループディスカッション② 総括	配付資料14	2時間	配付資料	2時間	

成績評価	定期試験 (60%)、課題・レポート (20%)、毎回の授業の感想・振り返り、毎回の授業課題 (20%)
課題 (試験・レポート等) に対するフィードバックの方法	毎時間の、授業振り返りシートにコメントを記載し、次の授業時に返却します。定期レポート結果は、ループリック評価にあわせて結果を返却します。課題についての振り返りと、フィードバックについては課題レポート提出後に解説します。
テキストおよび参考文献	参考文献を提示するとともに、適宜資料を配付していく。配付した資料を各自のファイルに整理し課題を振り返り、提出に備えてください。 【持参物】 記録用ファイル ※オープン教材を使用することがあります。
メッセージなど	入学してきた学生のみなさんと、豊かな余暇生活 (学生生活) を送っていくためさらに、充実した人生のプログラムを開発しながら、自らの創造的な余暇生活を創造していきましょう。

ループリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) 余暇生活、余暇活動についての基本を説明することができる。	ほぼ完璧に説明できている。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが最低限の基本を説明できている。	説明できていない。	グループディスカッション (知識・理解)	60%
(2) 各自が余暇生活を振り返り、自らの余暇生活を他者に説明できる。	ほぼ完璧に説明できている。	大きな間違いがなく、説明できている。	間違いはいくつかあるが最低限の説明ができている。	説明できていない。	課題・レポート (関心・意欲・思考力・判断力・表現力)	20%
(3) 余暇生活に関わる身近な問題について、自分の考えや意見を述べるができる。	ほぼ完璧に自分の考えや意見を述べている。	大きな間違いがなく、自分の考えを述べている。	間違いはいくつかあるが最低限の自分の考えを述べている。	自分の考えを述べていない。	毎回の授業の感想・振り返り、毎回の授業課題 (関心・意欲・思考力・判断力・表現力)	20%

授業科目		対象学科・専攻		ナンバリング	年次	期別
比較文化概説 Introduction to Comparative Culture		全学科 (一般学生対象)		23BAHU1004	1年次	後期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業 認定	担当教員			実務家 教員
講義	2	選択	林 伸一			
ディプロマ ポリシー との関係	何事にも誠実に取り組み、豊かな表現力と知識を持ち、誠実にコミュニケーションをとることができる社会人としてふさわしい人間性を有すとともに、専門的職業人の資質と能力を持ち合わせて、地域とともに成長していくことができる者に短期大学士の学位を授与する。					○
概 要	日本の文化や風習を知り、自分の出身国（日本人の場合は外国）との違いを認識するとともに、異なる文化の存在への関心と理解を深める。					
到達目標	(1)文化、異文化について説明することができる。 (2)周りにいる人の異なるバックグラウンドを理解し、自身の価値観を探求することができる。					
授業内容 と 進め方	山口短期大学博多キャンパスを令和3年度より開設したことに伴い、本部山口短期大学と博多キャンパスに大型ディスプレイ、ビデオカメラ、パソコン等遠隔授業用の機器を準備し、zoomによる遠隔授業を行っている。					
	回	授業内容	予習内容	予習 時間	復習内容	復習 時間
	1	Introduction、「異文化を理解する」	Day 2の資料を読む。	2時間		
	2	「文化とは」(その1)	Day 3の資料を読む。	2時間	Day 1の振り返り。	2時間
	3	「文化とは」(その2)	Day 4の資料を読む。	2時間	Day 1-3の振り返り、レポート1に備える。	2時間
	4	「異文化適応」	Day 5の資料を読む。	2時間	Day 4の振り返り。	2時間
	5	「シミュレーション」	Day 6の資料を読む。	2時間	Day 5の振り返り。	2時間
	6	「違いに気づく」	Day 7の資料を読む。	2時間	Day 6の振り返り、レポート2に備える。	2時間
	7	「異文化の認識」	Day 8の資料を読む。	2時間	Day 7の振り返り。	2時間
	8	「差別を考える」	Day 9の資料を読む。	2時間	Day 8の振り返り。	2時間
	9	「世界の価値観」	Day 10の資料を読む。	2時間	Day 9の振り返り、レポート3に備える。	2時間
	10	「異文化トレーニング」	Day 11の資料を読む。	2時間	Day 10の振り返り。	2時間
	11	「異文化受容」	Day 12の資料を読む。	2時間	Day 11の振り返り。	2時間
	12	「自分を知る」	Day 13の資料を読む。	2時間	Day 12の振り返り、レポート4に備える。	2時間
	13	「非言語コミュニケーション」	Day 14の資料を読む。	2時間	Day 13の振り返り。	2時間
	14	「アサーティブコミュニケーション」	Day 15の資料を読む。	2時間	Day 14の振り返り。	2時間
15	「多文化共生社会の実現に向けて」	Day 1-15の資料を読む。	2時間	Day 1-15の振り返り、最終レポートに備える。	2時間	

成績評価	課題・レポート (50%)、グループワーク・グループ討議 (50%)
課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法	ポートフォリオと感想文、レポートにはコメントを書いて返却する。
テキストおよび参考文献	資料は配布します。【参考文献】「異文化理解入門 原沢伊都夫 研究社」「グローバル社会における異文化コミュニケーション 池田理知子・埜幸枝 三修社」「よくわかる異文化コミュニケーション 池田理知子 ミネルヴァ書房」
メッセージなど	クラスメートとの協同学習に積極的に取り組む態度を求めます。内容・予定は変更する場合があります。楽しい授業を心がけたいと思いますので、学生の皆さんのご協力をお願いします。

ルーブリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) 文化、異文化ついて説明することができる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、説明できる。	間違いはいくつかあるが、説明できる。	説明できていない。	課題・レポート (知識・理解)	50%
(2) 周りにいる人の異なるバックグラウンドを理解し、自身の価値観を探求することができる。	周りにいる人を理解し、自身の価値観を探求できる。	ある程度、周りにいる人を理解し、自身の価値観を探求できる。	ある程度周りにいる人を理解し、ある程度自身の価値観を探求できる。	周りにいる人を理解しようとして、自身の価値観も探求できない。	グループワーク・グループ討議 (関心・意欲・態度・技能・表現力)	50%

授業科目		対象学科・専攻		ナンバリング	年次	期別
比較文化概説 Introduction to Comparative Culture		全学科 (留学生対象)		23BAHU2005	2年次	後期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業 認定	担当教員			実務家 教員
講義	2	選択	林 伸一			
ディプロマ ポリシー との関係	何事にも誠実に取り組み、豊かな表現力と知識を持ち、誠実にコミュニケーションをとることができる社会人としてふさわしい人間性を有するとともに、専門的職業人の資質と能力を持ち合わせて、地域とともに成長していくことができる者に短期大学士の学位を授与する。					○
概 要	日本の文化や風習を知り、自分の出身国（日本人の場合は外国）との違いを認識するとともに、異なる文化の存在への関心と理解を深める。					
到達目標	(1) 日本の文化について理解することができる。 (2) 日本文化と異文化について説明することができる。 (3) 母国の文化と日本の文化の違いについて、テーマを選び、発表することができる。 (4) 日本事情を理解し、日本式のマナーを実践できる。					
授業内容 と 進め方	山口短期大学博多キャンパスを令和3年度より開設したことに伴い、本部山口短期大学と博多キャンパスに大型ディスプレイ、ビデオカメラ、パソコン等遠隔授業用の機器を準備し、zoomによる遠隔授業を行っている。					
	回	授業内容	予習内容	予習 時間	復習内容	復習 時間
	1	おもてなしの心・日本式のマナーと日本事情	オリエンテーション		該当箇所の復習。	2時間
	2	山口事情と山口の伝統文化・歴史	該当箇所の予習。	2時間	該当箇所の復習。	2時間
	3	日本の若者のファッション：ダメージジーンズ	該当箇所の予習。	2時間	該当箇所の復習。	2時間
	4	高齢化社会の日本事情	該当箇所の予習。	2時間	該当箇所の復習。	2時間
	5	健康にいい日本食：栄養バランス	該当箇所の予習。	2時間	該当箇所の復習。	2時間
	6	日本の映像芸術：フォトコンテスト	該当箇所の予習。	2時間	該当箇所の復習。	2時間
	7	日本の色形容詞と実際の色彩	該当箇所の予習。	2時間	該当箇所の復習。	2時間
	8	日本の四季：春夏秋冬（雪景色）	該当箇所の予習。	2時間	該当箇所の復習。	2時間
	9	日本のソフトパワーとなったアニメ	該当箇所の予習。	2時間	該当箇所の復習。	2時間
	10	山口の温泉と足湯	該当箇所の予習。	2時間	該当箇所の復習。	2時間
	11	ヒューマンライブラリー（人間図書館）	該当箇所の予習。	2時間	該当箇所の復習。	2時間
	12	朗読に挑戦してみよう！（金子みすゞ・中原中也）	該当箇所の予習。	2時間	該当箇所の復習。	2時間
	13	世界に広がる日本文化	該当箇所の予習。	2時間	該当箇所の復習。	2時間
	14	紙芝居で知る日本の昔話（桃太郎、一寸法師、かぐや姫など）	該当箇所の予習。	2時間	該当箇所の復習。	2時間
15	紙芝居で知る世界の昔話（裸の王様、ジャックと豆の木など）	該当箇所の予習。	2時間	該当箇所の復習。	2時間	

成績評価	定期試験 (80%)、小テスト (10%) 発表・プレゼンテーション(10%)
課題(試験・レポート等)に対する フィードバックの方法	小テストを採点し、返却時に間違っただ箇所を解説する。 課題の作文などを添削し、返却時に誤用例や模範例を示して解説する。
テキストおよび 参考文献	PPT(パワーポイント) 教材、大人が読んで考える絵本・紙芝居教材
メッセージ など	日本文化や異文化を絵本や紙芝居やパワーポイント教材で学びます。

ルーブリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) 日本の文化について理解することができる。	日本文化についてほぼ完璧に理解できる。	大きな間違いなく、ほぼ日本文化を理解できる。	間違いはいくつかあるが、基本的な日本文化理解ができる。	日本の文化について理解することができない。	定期試験 (知識・理解)	上段 20% 下段 5% 小計 25%
	日本文化についてほぼ完璧に理解できる。	大きな間違いなく、ほぼ日本文化を理解できる。	間違いはいくつかあるが、基本的な日本文化理解ができる。	日本の文化について理解することができない。	小テスト (知識・理解)	
(2) 日本の文化について説明することができる。	日本文化についてほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いなく、ほぼ日本文化を説明できる。	間違いはいくつかあるが、基本的な日本文化の説明ができる。	日本の文化について説明することができない。	定期試験 (知識・理解)	上段 20% 下段 5% 小計 25%
	日本文化についてほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いなく、ほぼ日本文化を説明できる。	間違いはいくつかあるが、基本的な日本文化の説明ができる。	日本の文化について説明することができない。	小テスト (知識・理解)	
(3) 母国の文化と日本の文化の違いについて、テーマを選び、発表することができる。	母国の文化と日本の文化の違いについて、発表することができる。	母国の文化と日本の文化の違いについて、説明することができる。	母国の文化と日本の文化の違いについて、理解することができる。	母国の文化と日本の文化の違いについて、理解することができない。	定期試験 (態度・表現力・判断力)	上段 20% 下段 5% 小計 25%
	母国の文化と日本の文化の違いについて、発表することができる。	母国の文化と日本の文化の違いについて、説明することができる。	母国の文化と日本の文化の違いについて、理解することができる。	母国の文化と日本の文化の違いについて、理解することができない。	発表・プレゼンテーション (態度・表現力・判断力)	
(4) 日本式のマナーを実践し、日本事情を理解できる。	日本式のマナーを実践し、日本事情をよく理解できる。	日本式のマナーを適切に実践し、日本事情をほぼ理解できる。	ある程度、日本式のマナーを実践し、日本事情を理解できる。	日本式のマナーを実践し、日本事情を理解できない。	定期試験 (態度・表現力・判断力)	上段 20% 下段 5% 小計 25%
	日本式のマナーを実践し、日本事情をよく理解できる。	日本式のマナーを適切に実践し、日本事情をほぼ理解できる。	ある程度、日本式のマナーを実践し、日本事情を理解できる。	日本式のマナーを実践し、日本事情を理解できない。	発表・プレゼンテーション (態度・表現力・判断力)	

授業科目		対象学科・専攻		ナンバリング	年次	期別
日本国憲法 The Constitution of Japan		全学科		23BASO1001	1年次	前期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業 認定	担当教員			実務家 教員
講義	2	選択				
ディプロマ ポリシー との関係	何事にも誠実に取り組み、豊かな表現力と知識を持ち、誠実にコミュニケーションをとることができる社会人としてふさわしい人間性を有するとともに、専門的職業人の資質と能力を持ち合わせて、地域とともに成長していくことができる者に短期大学士の学位を授与する。					○
概 要	私たちが暮らしている日本の国の憲法はどのような考え方・理念をもとに制定されているのか、人権尊重や民主主義の歴史的背景について理解しながら深めていきたいと思います。「日本国憲法」と聞くと、難しいという印象を持つ人も多いかもしれませんが、質問にも随時受け付け、映像なども用いて、憲法に関わる様々な社会の問題を身近な事柄として考えてもらえる授業を目指します。					
到達目標	(1) 日本国憲法の基本原理である基本的人権の尊重、国民主権、平和主義等の考え方や理念について理解を深めたいうえで、説明できる。 (2) 憲法制定の背景、近代化の流れを理解しながら、近現代史をあらためて多角的に捉え直し、現在の社会の出来事についても興味、関心を持ち、説明できる。 (3) 最高法規である憲法に規定されている内容を理解し、論理的かつ説得力ある説明ができる。					
授業内容 と 進め方	山口短期大学博多キャンパスを令和3年度より開設したことに伴い、本部山口短期大学と博多キャンパスに大型ディスプレイ、ビデオカメラ、パソコン等遠隔授業用の機器を準備し、zoomによる遠隔授業を行っている。					
	回	授業内容	予習内容	予習 時間	復習内容	復習 時間
	1	日本国憲法の構成と特徴	日本国憲法の特徴	0.75 時間	日本国憲法の 構成	0.75 時間
	2	大日本帝国憲法と戦前の日本	戦前の憲法	0.75 時間	大日本帝国 憲法	0.75 時間
	3	日本国憲法の制定	GHQ について	0.75 時間	憲法の制定	0.75 時間
	4	前文と三大原理	前文について	0.75 時間	三大原理ついで	0.75 時間
	5	国民主権と民主主義	民主主義とは	0.75 時間	国民主権	0.75 時間
	6	欧米近代化の歴史と人権思想	人権とは	0.75 時間	近代化と人権	0.75 時間
	7	基本的人権①－個人の尊重・ 平等権－	基本的人権	0.75 時間	法の下での平等	0.75 時間
	8	基本的人権②－自由権－	自由権とは	0.75 時間	自由権の種類	0.75 時間
	9	基本的人権③－生存権－	社会権とは	0.75 時間	生存権とその 施策	0.75 時間
	10	基本的人権④－参政権・新しい 人権－	選挙権とは	0.75 時間	参政権	0.75 時間
	11	平和主義－第9条解釈・平和 的生存権－	平和主義とは	0.75 時間	9条の解釈	0.75 時間
	12	統治機構－三権分立－	三権分立とは	0.75 時間	統治機構	0.75 時間
13	日本の裁判制度と法律家	裁判制度	0.75 時間	民事刑事裁 判	0.75 時間	

	14	裁判員制度	裁判員制度の概要	0.75 時間	裁判員制度の内容	0.75 時間
	15	まとめ	憲法とは	0.75 時間	まとめ	0.75 時間
成績評価	定期試験 (50%)、課題・レポート (50%)					
課題 (試験・レポート等) に対するフィードバックの方法	定期試験および課題(レポート)については、模範解答を提示する。					
テキストおよび参考文献	<p>テキスト：授業で参考資料を配布</p> <p>参考文献：必要に応じて紹介</p>					
メッセージなど	<p>難しい言葉や歴史も一つ一つ丁寧に理解を積み重ねていくと、今まで分からなかった世界が身近になり、広がっていきます。がんばりましょう！</p> <p>幼稚園教諭二種、小学校教諭二種：「必修」</p>					

ルーブリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) 日本国憲法の基本原理である基本的人権の尊重、国民主権、平和主義等の考え方や理念について理解を深めたいうえで、説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。	定期試験 (知識・理解)	25%
	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。	課題・レポート (知識・理解)	25%
(2) 憲法制定の背景、近代化の流れを理解しながら、近現代史をあらためて多角的に捉え直し、現在の社会の出来事についても興味、関心を持ち、説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。	定期試験 (知識・理解)	10%
	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。	課題・レポート (知識・理解)	10%
(3) 最高法規である憲法に規定されている内容を理解し、論理的かつ説得力ある説明ができる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。	定期試験 (知識・理解)	15%
	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。	課題・レポート (知識・理解)	15%

授業科目		対象学科・専攻		ナンバリング	年次	期別
現代社会問題 Issues in Modern Society		全学科		23BASO1002	1年次	後期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業 認定	担当教員			実務家 教員
講義	2	選択	今川 晋平			
ディプロマ ポリシー との関係	何事にも誠実に取り組み、豊かな表現力と知識を持ち、誠実にコミュニケーションをとることができる社会人としてふさわしい人間性を有するとともに、専門的職業人の資質と能力を持ち合わせて、地域とともに成長していくことができる者に短期大学士の学位を授与する。					○
概 要	子どもはみな、それぞれの「時代性」を背負って生きている。現代の子どもたちは、どのような問題を抱えているのでしょうか？子どもの生活を激変させた第二次世界大戦終戦から、現在に至るまで、それぞれの時代の子どもの姿を捉えながら、現代の子どもの問題について考える。					
到達目標	(1) 時代背景に合わせた子どもの問題の変化について説明できる。 (2) 子どもに関わる問題について具体的に述べるができる。 (3) マスコミ（新聞、テレビ等）のニュース報道に興味を湧き自分の意見を持って協議する。					
授業内容 と 進め方	山口短期大学博多キャンパスを令和3年度より開設したことに伴い、本部山口短期大学と博多キャンパスに大型ディスプレイ、ビデオカメラ、パソコン等遠隔授業用の機器を準備し、zoomによる遠隔授業を行っている。					
	回	授業内容	予習内容	予習 時間	復習内容	復習 時間
	1	オリエンテーション	配布資料を読んで おく	2時間	課題を探す	2時間
	2	終戦前後の子ども文化	配布資料を読んで おく	2時間	課題を探す	2時間
	3	戦後の社会的養護	配布資料を読んで おく	2時間	課題を探す	2時間
	4	教育制度・集団就職	配布資料を読んで おく	2時間	課題をまとめる	2時間
	5	高度経済成長期の子どもたち テレビの世界	配布資料を読んで おく	2時間	課題をまとめる	2時間
	6	加熱化する進学塾	配布資料を読んで おく	2時間	課題をまとめる	2時間
	7	いじめ	配布資料を読んで おく	2時間	課題をまとめる	2時間
	8	平成時代の子どもたち ファミコン・シンδροーム	配布資料を読んで おく	2時間	発表準備	2時間
	9	少年A	配布資料を読んで おく	2時間	発表準備	2時間
	10	学校に行けない子ども、行かない子ども	配布資料を読んで おく	2時間	発表準備	2時間
	11	特別な支援の必要な子どもたち	配布資料を読んで おく	2時間	発表準備	2時間
	12	「モンスター・ペアレント」の出現	配布資料を読んで おく	2時間	発表準備	2時間
	13	女性に社会進出と保育ニーズ	配布資料を読んで おく	2時間	発表準備	2時間
	14	ポスター発表	発表準備	2時間	振り返りシートの記入	2時間
15	スマホ世代の子どもたち	配布資料を読んで おく	2時間	課題レポート	2時間	
※授業内容を一部変更する場合があります。						

成績評価	定期試験 (40%)、課題・レポート (15%)、授業への取り組み (30%)、発表・プレゼンテーション (15%)
課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法	試験やレポートは、ルーブリック評価での結果を渡す。
テキストおよび参考文献	授業時にプリント配布 参考文献：深谷和子編 児童心理「子どもの問題70年」金子書房
メッセージ	社会人に求められる教養、技能、品格を授業の中で身につける人生で最後の時間です。自覚して頑張りましょう。

ルーブリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) 時代背景に合わせた子どもの問題の変化について説明できる。	子どもの問題の変化を的確に説明できる。	子どもの問題の変化について大体のことを説明できる。	時代背景に合わせた子どもの問題の変化を間違いはあるが説明できる。	時代背景に合わせた子どもの問題の変化を説明できていない。	定期試験 (知識・思考力・表現力)	40%
(2) 子どもに関わる問題について具体的に述べることができる	子どもに関わる問題についての的確に認識し、ほぼ完璧に自分の考えを述べている。	子どもに関わる問題について大体のことを認識し、自分の考えを述べている。	子どもに関わる問題について認識の間違いはあるが、最低限の自分の考えを述べている。	子どもに関わる問題について認識できておらず、自分の考えを述べていない。	課題・レポート (知識・思考力・判断力・表現力)	30%
(3) マスコミ(新聞、テレビ等)のニュース報道に興味を湧き自分の意見を持って協議する	的確な問題意識を持って協議している。	問題意識を持ち、協議している。	間違いはいくつかあるが、協議に参加している。	身近な問題に触れようとせず、協議していない。	授業への取り組み (関心・意欲・思考力・表現力)	30%

授業科目		対象学科・専攻		ナンバリング	年次	期別
行動科学 Behavioral Science		全学科		23BASO1004	1年次	前期
講義・演習・実技・実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員			実務家教員
講義	2	選択	田中 佑弥			
ディプロマ・ポリシーとの関係	何事にも誠実に取り組み、豊かな表現力と知識を持ち、誠実にコミュニケーションをとることができる社会人としてふさわしい人間性を有するとともに、専門的職業人の資質と能力を持ち合わせて、地域とともに成長していくことができる者に短期大学士の学位を授与する。					○
概要	心理学がどのような学問であるかを紹介し、認知心理学、学習心理学、発達心理学、社会心理学、臨床心理学といった各領域の基礎的な内容を概説する。授業は、テキストを用いて解説する。また、各授業中に講義内容について考えたことについて記入する授業課題を課す。					
到達目標	(1) 行動科学・心理学がどのような学問であるかを理解し、基礎的な知識を有している。 (2) 心理学の知識に基づいて、自分や他者の行動を説明することができる。 (3) 心理学の知識を糸口として自己や社会等から課題を見だし、取り組むことができる。					
授業内容 と 進め方	山口短期大学博多キャンパスを令和3年度より開設したことに伴い、本部山口短期大学と博多キャンパスに大型ディスプレイ、ビデオカメラ、パソコン等遠隔授業用の機器を準備し、zoomによる遠隔授業を行っている。					
	回	授業内容	予習内容	予習時間	復習内容	復習時間
	1	オリエンテーション行動科学・心理学とは	-		本時の内容をまとめる。	2時間
	2	感覚・知覚	キーワードの印象を書く。	2時間	配布資料を読み、まとめる。	2時間
	3	記憶	キーワードの印象を書く。	2時間	配布資料を読み、まとめる。	2時間
	4	学習	キーワードの印象を書く。	2時間	配布資料を読み、まとめる。	2時間
	5	感情	キーワードの印象を書く。	2時間	配布資料を読み、まとめる。	2時間
	6	動機づけ	キーワードの印象を書く。	2時間	配布資料を読み、まとめる。	2時間
	7	知能	キーワードの印象を書く。	2時間	配布資料を読み、まとめる。	2時間
	8	パーソナリティ	キーワードの印象を書く。	2時間	配布資料を読み、まとめる。	2時間
	9	発達	キーワードの印象を書く。	2時間	配布資料を読み、まとめる。	2時間
	10	発達障害	キーワードの印象を書く。	2時間	配布資料を読み、まとめる。	2時間
	11	ストレス	キーワードの印象を書く。	2時間	配布資料を読み、まとめる。	2時間
	12	社会	キーワードの印象を書く。	2時間	配布資料を読み、まとめる。	2時間
	13	心理療法	キーワードの印象を書く。	2時間	配布資料を読み、まとめる。	2時間
	14	心理カウンセリング	キーワードの印象を書く。	2時間	配布資料を読み、まとめる。	2時間
15	まとめ	テキストや配布資料を読む。	2時間	配布資料を読み、まとめる。	2時間	

成績評価	授業の感想・振り返り，授業課題（関心・意欲・態度）50%、 レポート（知識・理解）25%、 レポート（思考力・判断力・表現力）25%
課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法	授業課題への回答は必要に応じてフィードバックを行う。 レポートと授業課題はルーブリック評価に基づき結果を示す。
テキストおよび参考文献	テキスト：米谷 淳（編著）行動科学への招待 福村出版
メッセージなど	各授業の授業課題は成績に反映されるため、積極的に記入してください。

ルーブリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) 行動科学・心理学がどのような学問であるかを理解し、基礎的な知識を有している。	心理学の各領域の基礎用語を十分に説明することができる。	心理学の各領域の基礎用語を概ね説明することができる。	心理学の各領域の基礎用語について最低限の内容を説明することができる。	心理学の各領域の基礎用語を説明することができない。	レポート (知識, 理解)	25%
(2) 心理学の知識に基づいて、自分や他者の行動を説明することができる。	毎時の内容と、自分や他者の行動との関連の見出し、説明した上で自分の考えを述べることができる。	毎時の内容と、自分や他者の行動との関連を見出し、説明することができる。	毎時の内容と、自分や他者の行動との関連の見出しが不十分である。	毎時の内容を通して、自分や他者の行動を説明できない。	授業の感想・振り返り，授業課題 (関心, 意欲, 態度)	50%
(3) 心理学の知識を糸口として自己や社会等から課題を見だし、取り組むことができる。	自己や社会におけるこころの働きについて、心理学的視点に立って考えることができ、表現したうえで実際に取り組むことができる。	自己や社会におけるこころの働きについて、心理学的視点に立って考えることができ、表現することができる。	自己や社会におけるこころの働きについて、心理学的視点に立って考えることができるが、表現が不十分である。	自己や社会におけるこころの働きについて、心理学的視点に立って考えることができない。	レポート (思考力, 判断力, 表現力)	25%

授業科目		対象学科・専攻		ナンバリング	年次	期別
物理学 Physics		全学科		23BANA2002	2年次	後期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業 認定	担当教員			実務家 教員
講義	2	選択	吉村 洋輔			
ディプロマ ポリシー との関係	何事にも誠実に取り組み、豊かな表現力と知識を持ち、誠実にコミュニケーションをとることができる社会人としてふさわしい人間性を有すとともに、専門的職業人の資質と能力を持ち合わせて、地域とともに成長していくことができる者に短期大学士の学位を授与する。					○
概 要	物理学の基礎的・基本的事項を理解し、科学的なものの見方・考え方を養う。					
到達目標	<p>(1) 力の表し方 合力、分力の求め方 2力のつり合いの関係と作用反作用の関係との違いが理解できる。</p> <p>(2) 重さ (N) と質量 (kg) の定義付けが正しく理解でき、重さは測定する場所によって異なり、質量は絶対不変の量であることが理解できる。</p> <p>(3) 静止摩擦力について、最大静止摩擦力は垂直抗力に比例することが理解できる。圧力、浮力が正しく理解できる。</p> <p>(4) 剛体のつり合いについて正しく理解できる。</p> <p>(5) 速度、加速度の概念を理解し、相対速度、等加速度直線運動について理解できる。落体の運動を等加速度直線運動と結び付けてグラフを活用して、分析する。慣性力、遠心力について理解する。</p> <p>(6) 仕事と仕事率、仕事量と力学的エネルギーについて理解する。</p> <p>(7) 熱とエネルギー 熱の本性、セルシウス$^{\circ}$と絶対温度について理解する。仕事による熱の発生と熱の仕事当量について理解する。</p> <p>(8) 比熱と熱容量について理解し、熱量計算ができるようにする。</p> <p>(9) 気体の熱的性質について 気体の圧力、ボイルの法則、シャルルの法則、ボイル・シャルルの法則について理解し、熱と仕事、断熱変化について理解する。</p> <p>(10) 波の伝わり方、波の速さ、波長、振動数、周期について理解する。横波、縦波の伝わり方について理解する。ドップラー効果について理解する。</p> <p>(11) 電流と電気抵抗について、電気回路、オームの法則、電気抵抗、電圧降下、電流と仕事ジュールの法則、電力と電力量について理解する。</p> <p>(12) 物理学の基礎・基本的事項について、問題形式の課題を提出し、知識・理解、思考力、判断力の再確認をする。</p>					
授業内容 と 進め方	回	授業内容	予習内容	予習 時間	復習内容	復習 時間
	1	力の合成と分解	力の表し方、合力、分力の求め方。	2時間	2力のつりあいと作用反作用の違いが説明できる。	2時間
	2	重さと質量	重さは測定する場所によって異なり質量は不変の量であるがわかる。	2時間	重さと質量の関係が正しく理解できる。	2時間
	3	いろいろな力	静止摩擦力、圧力、浮力が正しく図示できる。	2時間	静止摩擦力、圧力、浮力が正しく理解できる。	2時間
	4	剛体のつりあい	大きさのある物体について、力のモーメントが理解できる。	2時間	力のモーメントのつりあいを使って大きさのある物体のつりあいを求めることができる。	2時間
	5	速度と加速度	速度と加速度の概念が正しく理解できる。	2時間	等速度運動、等加速度運動についてグラフに表し、グラフから速度、加速度、移動距離を求めることができる。	2時間

	6	落体の運動	真上に投げた物体、水平に投げた物体の運動が正しく解説できる。	2時間	等加速度直線運動の4つの公式を使って落体の運動を解説できる。	2時間
	7	慣性力	電車内で天井からつるした物体にはたらく力を正しく図示でき、みかけの力慣性力を正しく説明できる。	2時間	慣性力 = -質量 × 加速度を電車の運動、等速円運動において説明できる。	2時間
	8	仕事と仕事率	仕事と仕事率を正しく理解できる。仕事の原理がわかる。	2時間	ジュール、ワット単位次元についても理解する。	2時間
	9	仕事量と力学的エネルギー	運動エネルギー、位置エネルギー。力学的エネルギーについて理解する。	2時間	保存力だけがはたらく場合力学的エネルギーは保存されることを使って、真上に投げた物体の運動、水平に投げた物体の運動を解説できる。	2時間
	10	熱とエネルギー	熱の本性について正しく理解し、様々な熱現象を原子、分子の概念を用いて説明できる。	2時間	セルシウス度、絶対温度、熱の仕事当量について理解を深める。また熱量計算ができる。	2時間
	11	気体の熱的性質	気体の圧力、ボイルの法則、シャルルの法則、ボイルシャルルの法則を正しく理解する。	2時間	気体の内部エネルギー、熱力学の第一法則断熱変化について理解する。	2時間
	12	波の伝わり方	波の伝わり方を媒質の概念から説明できる。	2時間	横波、縦波、ドップラー効果について理解を深める。	2時間
	13	電気と電圧、電流と電子	電流回路、抵抗、電圧降下、抵抗率、オームの法則を理解する。	2時間	抵抗を直列、並列接続した回路で抵抗を流れる電流を求める。	2時間
	14	電気エネルギー	ジュールの法則、電力、電力量、電力の単位を理解する。	2時間	電気器具を消費した時間から消費電力を求めることができる。	2時間
	15	問題演習	問題演習課題プリント	2時間	プリントの問題が確実に解けるようにする。	2時間
成績評価		定期試験 (80%)、課題・レポート (20%)				
課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法		ループリック評価をフィードバックする。				
テキストおよび参考文献		作成プリントを使用				
メッセージなど		日常生活でよく出会う物理事象を取り上げ、おもしろく興味ある授業にする。				

ルーブリック評価を用いた成績評価

到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) 力の表し方 合力、分力の求め方 2力のつり合いの関係と作用反作用の関係との違いが理解できる。	ベクトル作図を使ってほぼ完璧に説明できる	大きな間違いがなく基礎・基本的事項は理解できている	いくつかの間違いはあるが、最低限の基本は理解できている。	理解できていない。	定期試験	9%
(2) 重さ (N) と質量 (kg) の定義付けが正しく理解でき、重さは測定する場所によって異なり、質量は絶対不変の量であることが理解できる。	ほぼ完璧に理解できている。	大きな間違いはなく基礎・基本的事項は理解できている	いくつかの間違いはあるが、最低限の基本は理解できている。	理解できていない。	定期試験	5%
(3) 静止摩擦力について、最大静止摩擦力は垂直抗力に比例することが理解できる。圧力、浮力が正しく理解できる。	力のベクトル作図を使って説明でき、ほぼ完璧に理解できている。	大きな間違いはなく基本的事項は理解できている。	いくつかの間違いはあるが、最低限の基本は理解できている。	理解できていない。	定期試験	9%
(4) 剛体のつり合いについて正しく理解できる。	ほぼ完璧に理解できている。応用力も身につけている。	大きな間違いはなく基本的事項は理解できている。	間違いはあるが最低限の基本事項は理解できている。	理解できていない。	定期試験	6%
(5) 速度、加速度の概念を理解し、相対速度、等加速度直線運動について理解できる。落体の運動を等加速度直線運動と結び付けてグラフを活用して、分析する。慣性力、遠心力について理解する。	基礎・基本的事項がほぼ完璧に理解できている。思考力応用力も身につけている。	大きな間違いはなく基本的事項は理解できている。	いくつかの間違いはあるが最低限の基本事項は理解できている。	理解できていない。	定期試験	9%
(6) 仕事と仕事率、仕事量と力学的エネルギーについて理解する。	基礎・基本的事項がほぼ完璧に理解できている。思考力応用力も身につけている。	基礎・基本的事項が大きな間違いがなく、ほぼ理解している。	いくつかの間違いはあるが最低限の基本事項は理解できている。	理解できていない。	定期試験	8%
(7) 熱とエネルギー 熱の本性、セルシウス度と絶対温度について理解する。仕事による熱の発生と熱の仕事当量について理解する。	基礎・基本的事項がほぼ完璧に理解できている。応用力も身につけている。	大きな間違いがなく、基礎・基本的事項をほぼ理解している。	いくつかの間違いはあるが最低限の基本事項は理解できている。	理解できていない。	定期試験	5%
(8) 比熱と熱容量について理解し、熱量計算ができるようにする。	基礎・基本的事項がほぼ完璧に理解できている。応用力も身につけている。	大きな間違いがなく、基礎・基本的事項をほぼ理解している。	いくつかの間違いはあるが最低限の基本事項は理解できている。	理解できていない。	定期試験	7%
(9) 気体の熱的性質について 気体の圧力、ボイルの法則、シャルルの法則、ボイル・シャルルの法則について理解し、熱と仕事、断熱変化について理解する。	基礎・基本的事項がほぼ完璧に理解できている。思考力応用力も身につけている。	大きな間違いがなく、基礎・基本的事項をほぼ理解している。	いくつかの間違いはあるが最低限の基本事項は理解できている。	理解できていない。	定期試験	6%

(10) 波の伝わり方、波の速さ、波長、振動数、周期について理解する。横波、縦波の伝わり方について理解する。ドップラー効果について理解する。	基礎・基本的事項がほぼ完璧に理解でき、思考力応用力も身につけている。	大きな間違いがなく、基礎・基本的事項をほぼ理解している。	いくつかの間違いはあるが最低限の基本事項は理解できている。	理解できていない。	定期試験	6%
(11) 電流と電気抵抗について、電気回路、オームの法則、電気抵抗、電圧降下、電流と仕事ジュールの法則、電力と電力量について理解する。	基礎・基本的事項がほぼ完璧に理解でき、思考力応用力も身につけている。	大きな間違いがなく、基礎・基本的事項をほぼ理解している。	いくつかの間違いはあるが最低限の基本事項は理解できている。	理解できていない。	定期試験	10%
(12) 物理学の基礎・基本的事項について、問題形式の課題を提出し、知識・理解、思考力、判断力の再確認をする。	基礎・基本的事項がほぼ完璧に理解でき、思考力応用力も身につけている。	大きな間違いがなく、基礎・基本的事項をほぼ理解している。	いくつかの間違いはあるが最低限の基本事項は理解できている。	理解できていない。	課題・レポート	20%

授業科目		対象学科・専攻		ナンバリング	年次	期別
生物学 Biology		全学科		23BANA2004	2年次	前期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業 認定	担当教員			実務家 教員
講義	2	選択	安藤 稔朗			
ディプロマ ポリシー との関係	何事にも誠実に取り組み、豊かな表現力と知識を持ち、誠実にコミュニケーションをとることができる社会人としてふさわしい人間性を有するとともに、専門的職業人の資質と能力を持ち合わせて、地域とともに成長していくことができる者に短期大学士の学位を授与する。					○
概 要	生物学への興味と関心が遠ざかった学生や、高校で生物を履修してこなかった学生も考慮に入れながら、生物学の基礎的・基本的事項について学習し、生物学的思考力を養う。 生物学の基礎となる理論、現象について学習する。					
到達目標	(1) 生物分野において、科学的なものの見方、考え方を培うための内容について、具体的な資料を活用しながら説明できる。 (2) 生物学で取り扱う教材の特性や着眼点などについて、レポートにまとめ説明できる。 (3) テキストの生物教材をとおして、自然現象の解明の仕方を説明できる。					
授業内容 と 進め方	回	授業内容	予習内容	予習 時間	復習内容	復習 時間
	1	オリエンテーション	テキスト 1~5 ページを読んでおく	2 時間	授業を振り返り、内容をまとめる	2 時間
	2	生物学のあゆみ	用意したプリントを読んでおく	2 時間	授業を振り返り、内容をまとめる	2 時間
	3	生命とは何か ー生命とその特徴ー	用意したプリントを読んでおく	2 時間	授業を振り返り、内容をまとめる	2 時間
	4	生命の基本単位 ー細胞ー	テキスト 6~11 ページを調べておく	2 時間	単細胞生物と多細胞生物をまとめる	2 時間
	5	植物の構成と機能	用意したプリントを読んでおく	2 時間	授業を振り返り、内容をまとめる	2 時間
	6	植物の成長	テキスト 12~13Pを調べておく	2 時間	植物の成長について特色を整理する	2 時間
	7	環境と植物	用意したプリントを読んでおく	2 時間	環境と植物のかかわりをまとめる	2 時間
	8	動物の働き ー生理作用ー	用意したプリントを読んでおく	2 時間	授業を振り返り、内容をまとめる	2 時間
	9	動物の行動	テキスト 20~25Pを調べておく	2 時間	授業を振り返り、内容を復習する	2 時間
	10	生殖と発生	テキスト 14~16Pを調べておく	2 時間	授業を振り返り、内容をまとめる	2 時間
	11	遺伝	用意したプリントを読んでおく	2 時間	授業を振り返り、内容をまとめる	2 時間
	12	生物の多様性と進化	用意したプリントを読んでおく	2 時間	授業を振り返り、内容をまとめる	2 時間
	13	生物の生活と生産	テキスト 26~30Pを調べておく	2 時間	授業を振り返り、内容をまとめる	2 時間
	14	生物界のつりあいと自然環境 保全	テキスト 31~32Pを調べておく	2 時間	授業を振り返り、内容をまとめる	2 時間
	15	地球環境と生命	テキスト 33~34Pを調べておく	2 時間	授業を振り返り、要点をまとめる	2 時間
成 績 評 価	定期試験 (30%)、課題・レポート (30%)、教材作成 (40%)					

課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法	授業の振り返りシートにコメントを書き、次の授業時に返却する。レポートや試験は、ルーブリック評価の結果を渡す。
テキストおよび参考文献	テキスト：安藤稔朗「生物学」山口短期大学 資料・プリント：その都度配布
メッセージなど	講義で学び取る学習から、講義を契機に自分の頭で思考する学習への転換をはかることが肝要である。

ルーブリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) 生物分野において、科学的なものの方、考え方を培うための内容について、具体的な資料を活用しながら説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、内容を説明できる。	間違いはいくつかあるが、説明できる。	説明できていない。	定期試験 (知識・理解)	30%
(2) 生物学で取り扱う教材の特性や着眼点などについて、レポートにまとめ説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、説明できる。	間違いはいくつかあるが、説明できる。	説明できていない。	課題・レポート (関心・意欲)	30%
(3) テキストの生物教材をとおして、自然現象の解明の仕方を説明できる。	ほぼ完璧に授業を工夫できる。	大きな間違いがなく、授業を工夫できる。	間違いはいくつかあるが、授業を工夫できる。	工夫できていない。	教材作成 (思考力・判断力・表現力)	40%

授業科目		対象学科・専攻		ナンバリング	年次	期別
データサイエンス入門 Introduction to Data Science		全学科		23BANA1001	1年次	後期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業 認定	担当教員			実務家 教員
講義	2	選択	横山 修			
ディプロマ ポリシー との関係	何事にも誠実に取り組み、豊かな表現力と知識を持ち、誠実にコミュニケーションをとることができる社会人としてふさわしい人間性を有するとともに、専門的職業人の資質と能力を持ち合わせて、地域とともに成長していくことができる者に短期大学士の学位を授与する。					○
概 要	数理・データサイエンス・AI は、私たちの日常生活や社会の諸問題を解決する有力なツールである。この講義では、数理・データサイエンス・AI がどのような領域でどのように活用されているのかを現場での事例を挙げて説明する。また、数理・データサイエンス・AI の利活用に当たり、留意すべき事項についても解説する。さらに、データを適切に処理・分析する力を養うため、実データを用いた演習を行う。					
到達目標	<p>(1) 数理・データサイエンス・AI が社会にもたらした変化およびデータ・AI の利活用の最新動向について説明できる。</p> <p>(2) 社会で利活用されているデータやその活用法およびデータ・AI の活用領域について説明することができる。</p> <p>(3) データ・AI の利活用により現場においてどのような価値が生み出されているか、また、その際に利用されている技術について事例を挙げて説明できる。</p> <p>(4) 数理・データサイエンス・AI の利活用に当たり留意すべき事項 (ELSI、データ倫理、情報セキュリティ等) を説明できる。</p> <p>(5) データを適切に処理・分析し、データが持つ意味を説明できる。</p>					
授業内容 と 進め方	山口短期大学博多キャンパスを令和3年度より開設したことに伴い、本部山口短期大学と博多キャンパスに大型ディスプレイ、ビデオカメラ、パソコン等遠隔授業用の機器を準備し、zoomによる遠隔授業を行っている。					
	回	授業内容	予習内容	予習 時間	復習内容	復習 時間
	1	オリエンテーション —数理・データサイエンス・AI が社会にもたらした変化—	シラバスを読み、科目の内容を把握する	1時間	授業で学んだ内容を復習する	2時間
	2	社会で利活用されているデータとその活用法および活用領域	授業テーマについて調べておく	2時間	授業で学んだ内容を復習する	2時間
	3	データ・AI の利活用のための技術	授業テーマについて調べておく	2時間	授業で学んだ内容を復習する	2時間
	4	現場におけるデータ・AI 利活用の事例紹介	授業テーマについて調べておく	2時間	授業で学んだ内容を復習する	2時間
	5	データ・AI 利活用の最新動向	授業テーマについて調べておく	2時間	授業で学んだ内容を復習する	2時間
	6	情報セキュリティ、データ・AI 利活用における法と倫理	授業テーマについて調べておく	2時間	授業で学んだ内容を復習する	2時間
	7	データを読む① —量的データと質的データ、データの分布と代表値—	授業テーマについて調べておく	2時間	授業で学んだ内容を復習する	2時間
	8	データを読む② —データのばらつき—	授業テーマについて調べておく	2時間	授業で学んだ内容を復習する	2時間
	9	データを読む③ —誤差、打ち切り、脱落を含むデータの取り扱い—	授業テーマについて調べておく	2時間	授業で学んだ内容を復習する	2時間
	10	データを読む④ —データの相関—	授業テーマについて調べておく	2時間	授業で学んだ内容を復習する	2時間
11	データを読む⑤ —クロス集計—	授業テーマについて調べておく	2時間	授業で学んだ内容を復習する	2時間	

	12	データを読む⑥ —母集団と標本—	授業テーマについて調べておく	2時間	授業で学んだ内容を復習する	2時間
	13	データを説明する —データのグラフ・チャート化—	授業テーマについて調べておく	2時間	授業で学んだ内容を復習する	2時間
	14	データを扱う① —データ解析ツールの使用方法—	授業テーマについて調べておく	2時間	授業で学んだ内容を復習する	2時間
	15	データを扱う② —データの集計・並べ替え・ランキング—	授業テーマについて調べておく	2時間	授業で学んだ内容を復習する	2時間
成績評価	課題・レポート（80%）、授業への取り組み（20%）					
課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法	定期試験とレポートはルーブリック評価に基づき結果を示す。					
テキストおよび参考文献	テキスト：なし					
メッセージなど	小学校教諭二種免許状、幼稚園教諭二種免許状：必修、情報メディア学科：卒業必修					

ルーブリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) 数理・データサイエンス・AI が社会にもたらした変化およびデータ・AI の活用の最新動向について説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の説明はできる。	説明できていない。	課題・レポート (知識・理解・思考力・判断力)	20%
(2) 社会で活用されているデータやその活用法およびデータ・AI の活用領域について説明することができる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の説明はできる。	説明できていない。	課題・レポート (知識・理解・思考力・判断力)	10%
(3) データ・AI の利活用により現場においてどのような価値が生み出されているか、また、その際に利用されている技術について事例を挙げて説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の説明はできる。	説明できていない。	課題・レポート (知識・理解・思考力・判断力)	10%
(4) 数理・データサイエンス・AI の利活用に当たり留意すべき事項（ELSI、データ倫理、情報セキュリティ等）を説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の説明はできる。	説明できていない。	課題・レポート (知識・理解・思考力・判断力)	10%
(5) データを適切に処理・分析し、データが持つ意味を説明できる。	ほぼ完璧に、データ処理・分析ができ、データが持つ意味を説明できる。	大きな間違いがなく、データ処理・分析ができ、データが持つ意味を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限のデータ処理・分析ができ、データが持つ意味を説明できる。	データの処理・分析ができない。	授業への取り組み (知識・理解・技能・思考力・判断力)	20%
					課題・レポート (知識・理解・思考力・判断力)	30%

授業科目		対象学科・専攻		ナンバリング	年次	期別
学問と人間の探求 Study on Academics and Human Beings		全学科		23BAGE1001	1年次	前期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業 認定	担当教員			実務家 教員
講義	2	必修	柴田 道信・佐藤 嘉倫			
ディプロマ ポリシー との関係	何事にも誠実に取り組み、豊かな表現力と知識を持ち、誠実にコミュニケーションをとることができる社会人としてふさわしい人間性を有すとともに、専門的職業人の資質と能力を持ち合わせて、地域とともに成長していくことができる者に短期大学士の学位を授与する。					○
概要	新入生が大学生活に円滑に適応し、学友とともに有意義な学生生活を送れることを目的とする。本学の理念と方針、学生生活の心得、大学での学びへの理解を深めるとともに、これからの人生を見据えた学生生活のあり方を学生自ら考える時間とする。					
到達目標	(1) 大学での学びの意義を理解し、自らの将来と関連付けながら、主体的に学ぶことができる。 (2) 大学生としての基本的なアカデミック・スキルが身に付いている。 (3) 異なる考え方や知識を持つ人々と積極的にコミュニケーションを図り、自らの知識や考え方を広げることができる。					
授業内容 と 進め方	山口短期大学博多キャンパスを令和3年度より開設したことに伴い、本部山口短期大学と博多キャンパスに大型ディスプレイ、ビデオカメラ、パソコン等遠隔授業用の機器を準備し、zoomによる遠隔授業を行っている。					
	回	授業内容	予習内容	予習 時間	復習内容	復習 時間
	1	オリエンテーション	シラバスを読み、科目の内容を把握する	1時間	授業内容を振り返り、考えをまとめる	2時間
	2	本学を知る ～建学の精神と3つのポリシー～	学生便覧の該当箇所を読む	2時間	授業内容を振り返り、考えをまとめる	2時間
	3	学生生活について①学生生活の心得	学生便覧の該当箇所を読む	2時間	授業内容を振り返る	2時間
	4	学生生活について②安全・安心な生活	消費者問題について調査する	2時間	授業内容を振り返る	2時間
	5	大学での学びとキャリアデザイン	大学での学びの意義を考え、まとめる	2時間	授業内容を振り返り、自己分析を行う	2時間
	6	Google Classroom の利用①基本的な使用方法	Google Classroom について調べておく	2時間	授業内容を振り返り、課題に取り組む	2時間
	7	Google Classroom の利用②課題等の提出方法	どのような提出方法があるか調べておく	2時間	授業内容を振り返り、課題に取り組む	2時間
	8	レポートの書き方①レポートとは？	レポートとは何かを調べる	2時間	授業内容を振り返る	2時間
	9	レポートの書き方②原稿用紙の使い方	原稿用紙の使い方を調べる	2時間	授業内容を振り返る	2時間
	10	レポートの書き方③論理的な書き方	論理的な書き方とは何か考える	2時間	授業内容を振り返る	2時間
	11	レポートの書き方④引用のルール	引用のルールについて調べる	2時間	課題レポートを作成する	2時間
	12	グループ討議について	グループ討議の発散・収束手法を調べる	2時間	授業内容を振り返る	2時間
13	グループ討議①選択型	選択型グループ討議について調べる	2時間	授業内容を振り返り、グループ討議の意義を考える	2時間	

	14	グループ討議②課題解決型	課題解決型グループ討議について調べる	2時間	授業内容を振り返り、グループ討議の意義を考える	2時間
	15	まとめ	授業全体を振り返る	2時間	授業内容を振り返り、考えをまとめる	2時間
成績評価	課題・レポート (30%)、授業への取り組み (40%)、グループワーク・グループ討議 (30%)					
課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法	授業において提示した課題については、授業内で個人あるいは全体に対してフィードバックする。					
テキストおよび参考文献	必要に応じてプリント配布					
メッセージなど						

ループリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) 大学での学びの意義を理解し、自らの将来と関連付けながら、主体的に学ぶことができる。	大学での学びと自らの将来を十分に関連付け、主体的に学ぶことができる。	大学での学びと自らの将来をある程度関連付け、主体的に学ぶことができる。	最低限ではあるが、主体的な学びの姿勢が見られる。	主体的な学びの姿勢が見られない。	授業への取り組み (関心・意欲・態度)	40%
(2) 大学生としての基本的なアカデミック・スキルが身に付いている。	ほぼ完璧にアカデミック・スキルが身に付いている。	大きな間違いもなく、アカデミック・スキルが身に付いている。	最低限のアカデミック・スキルは身に付いている。	アカデミック・スキルが身に付いていない。	課題・レポート (思考力・判断力・表現力)	30%
(3) 異なる考え方や知識を持つ人々と積極的にコミュニケーションを図り、自らの知識や考え方を広げることができる。	積極的にコミュニケーションを図り、自らの知識や考えを大きく発展させることができる。	コミュニケーションを図り、自らの知識や考え方をある程度広げることができる。	最低限のコミュニケーションは図ることができる。	コミュニケーションを図ることができない。	グループワーク・グループ討議 (態度・思考力・表現力・協働性)	30%

授業科目		対象学科・専攻		ナンバリング	年次	期別
国際交流 International Activities		全学科		23BAGE2002	2年次	通年
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業 認定	担当教員			実務家 教員
演習	2	必修	中津 愛子・寺本 公思・柴田 道信・ 田中 奏子・呉 靱			
ディプロマ ポリシー との関係	何事にも誠実に取り組み、豊かな表現力と知識を持ち、誠実にコミュニケーションをとることができる社会人としてふさわしい人間性を有するとともに、専門的職業人の資質と能力を持ち合わせて、地域とともに成長していくことができる者に短期大学士の学位を授与する。					○
概 要	文化的背景の異なる人々との交流を通じて、様々な文化・風習・考え方に触れ、異文化への理解を深める。また、実際の体験に基づき異文化理解を深めることを目的とする。					
到達目標	(1) 外国事情や異文化に興味・関心を持ち、意欲的に学ぶことができる。 (2) 異なる文化を持つ人々とコミュニケーションを図るための態度と能力を身に付けている。 (3) 複眼的な視点で異文化を捉え、異文化に理解を示すことができる。					
授業内容 と 進め方	山口短期大学博多キャンパスを令和3年度より開設したことに伴い、本部山口短期大学と博多キャンパスに大型ディスプレイ、ビデオカメラ、パソコン等遠隔授業用の機器を準備し、zoomによる遠隔授業を行っている。					
	回	授業内容	予習内容	予習 時間	復習内容	復習 時間
	1	オリエンテーション 私と国際交流1(まとめる)	シラバスを読む	1時間	自分の人生における国際交流をまとめる	1時間
	2	私と国際交流2(共有する)	自分の人生における国際交流をまとめる	1時間	グループ活動の結果をまとめる	1時間
	3	私の国際交流体験記1 (日常生活)	日常生活における常識と非常識を考える	1時間	本時の内容を振り返る	1時間
	4	私の国際交流体験記2 (食文化)	自国の食文化の特徴をまとめる	1時間	本時の内容を振り返る	1時間
	5	私の国際交流体験記3 (コミュニケーション)	日常使うジェスチャーを考える	1時間	本時の内容を振り返る	1時間
	6	私の国際交流体験記4 (価値観)	自身の価値観を考える	1時間	本時の内容を振り返る	1時間
	7	海外の生活文化や習慣を知る1	指示された国について調べる	1時間	本時の内容を振り返る	1時間
	8	海外の生活文化や習慣を知る2	指示された国について調べる	1時間	本時の内容を振り返る	1時間
	9	海外の生活文化や習慣を知る3	指示された国について調べる	1時間	本時の内容を振り返る	1時間
	10	まとめ	前期の授業内容を振り返りまとめる	2時間		
	回	授業内容	予習内容	予習 時間	復習内容	復習 時間
11	オリエンテーション 国際交流活動について調べよう1		1時間	外務省のHP等で調べる	1時間	
12	国際交流活動について調べよう2	資料を自分で見つける	1時間	資料を読みまとめる	1時間	

	13	国際交流活動について調べよう 3	資料を読んでおく	1 時間	資料を読み、まとめる	1 時間
	14	海外で活躍する人々		1 時間	本時の内容を振り返る	1 時間
	15	異文化理解講座 1		1 時間		1 時間
	16	異文化理解講座 2		1 時間		1 時間
	17	異文化理解講座 3		1 時間		1 時間
	18	異文化理解講座 4		1 時間		1 時間
	19	異文化理解講座 5		1 時間		1 時間
	20	まとめ	全授業内容を振り返りまとめる	1 時間		
成績評価	課題・レポート (30%)、授業への取り組み (70%)					
課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法	授業において提示した課題については、授業内で全体に対してフィードバックする。					
テキストおよび参考文献	適宜プリントを配布					
メッセージなど	海外を訪れ、異文化を体験するということは、何事にも代え難い経験であり、その後の人生の大きな糧となります。これをきっかけに皆さんが海外の文化に関心を持ち、海外を視野に活躍する人材となることを期待しています。					

ループリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) 外国事情や異文化に興味・関心を持ち、意欲的に学ぶことができる。	外国文化へ高い興味・関心を示し、意欲的に学ぶ姿勢が見られる。	外国文化へ興味・関心を持ち、学ぶ姿勢も十分見られる。	外国文化への興味・関心は低い、最低限の学ぶ姿勢は見られる。	外国文化への興味・関心が低く、学ぶ姿勢が見られない。	授業への取り組み (関心・意欲・態度)	50%
(2) 異なる文化を持つ人々とコミュニケーションを図るための態度と能力を身に付けている。	完璧に身に付いている。	十分に身に付いている。	最低限であるが身に付いている。	身に付いていない。	授業への取り組み (態度・表現力・協働性)	20%
(3) 複眼的な視点で異文化を捉え、異文化に理解を示すことができる。	自身の世界観およびこれと異なる世界観の見方から異文化を観察し、異文化経験を解釈できる。	自身の世界観およびこれと異なる世界観の見方から異文化を観察することができる。	自分の世界観を中心に異文化を見ているが、異文化を理解しようとする姿勢は見受けられる。	自分の世界観のみを通して異文化を見ており、異文化への理解・も低い。	課題・レポート (思考力・判断力・表現力)	30%

授業科目		対象学科・専攻		ナンバリング	年次	期別
言葉とコミュニケーション Language and Communication		全学科		23BAGE1004	1年次	前期
講義・演習・実技・実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員			実務家教員
講義	2	選択	小河原 香代子			
ディプロマポリシーとの関係	何事にも誠実に取り組み、豊かな表現力と知識を持ち、誠実にコミュニケーションをとることができる社会人としてふさわしい人間性を有するとともに、専門的職業人の資質と能力を持ち合わせて、地域とともに成長していくことができる者に短期大学士の学位を授与する。					○
概要	英語でコミュニケーションを図る際に大切なことは何だろうか？英語と日本語の言語文化の違いから日本人が陥りやすい問題点に焦点を当て、会話を円滑に続けられる能力を身につけるためのストラテジー（方略）について学ぶ。					
到達目標	(1) 英語と日本語の言語表現のストラテジーの違いについて説明できる。 (2) 英語コミュニケーション方略について主体的に考え、場面や状況に応じて実践することができる。 (3) 言語文化の違いについての気付き、考え方を述べるができる。					
授業内容と進め方	山口短期大学博多キャンパスを令和3年度より開設したことに伴い、本部山口短期大学と博多キャンパスに大型ディスプレイ、ビデオカメラ、パソコン等遠隔授業用の機器を準備し、zoomによる遠隔授業を行っている。					
	回	授業内容	予習内容	予習時間	復習内容	復習時間
	1	イントロダクション Unit 1 困っている人に話しかける			Unit 1: テキストの内容、英語表現を復習する。	2時間
	2	Unit2 初対面の人と会話を続ける	Unit 2: テキストを読んで内容を理解する。わからない単語は調べておく。 Exercises をする。	2時間	Unit 2: テキストの内容、英語表現を復習する。音声が開けるところは音声を聞いて練習する。	2時間
	3	Unit 1, 2 復習	Unit 1, 2: 練習問題のやっていない箇所	2時間	Unit 1, 2: テキストにある表現を覚える。音声が開けるところは音声を聞いて練習する。	2時間
	4	Unit 3 ポジティブ/ネガティブな意見を述べる	Unit 3: テキストを読んで内容を理解する。わからない単語は調べておく。 Exercises をする。	2時間	Unit 3: テキストの内容、英語表現を復習する。音声が開けるところは音声を聞いて練習する。	2時間
	5	Unit 4 体調を伝える	Unit 4: 同上	2時間	Unit 4: 同上	2時間
	6	Unit 5 注意する	Unit 5: 同上	2時間	Unit 5: 同上	2時間
	7	Unit 6 提案する	Unit 6: 同上	2時間	Unit 6: 同上	2時間
	8	Unit 7 スケジュールを調整する	Unit 7: 同上	2時間	Unit 7: 同上	2時間
	9	Unit 8 依頼を断る	Unit 8: 同上	2時間	Unit 8: 同上	2時間
	10	Unit 9 解決策を提案する/協同作業する	Unit 9: 同上	2時間	Unit 9: 同上	2時間
	11	Unit 10 お願いする	Unit 10: 同上	2時間	Unit 10: 同上	2時間
	12	Unit 11 アドバイスをする	Unit 11: 同上	2時間	Unit 11: 同上	2時間
	13	Unit 12 発言を聞き返す	Unit 12: 同上	2時間	Unit 12: 同上	2時間
	14	Unit 13 相手を励ます	Unit 13: 同上	2時間	Unit 13: 同上	2時間
15	Unit 14 誤解を解く/真意を伝える復習	Unit 14: 同上	2時間	Unit 14: 同上	2時間	

成績評価	定期試験（70%）、毎回の授業の感想・振り返り、毎回の授業課題（30%）
課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法	授業の振り返りシートを評価し、次の授業時に返却する。
テキストおよび参考文献	<i>MUST-HAVE English Skills for Global Communication</i> グローバル人材をめざす大学生の英語スキル&コミュニケーション
メッセージなど	実際にペアワークやグループワークでコミュニケーションを取りながら行うアクティブラーニング型の授業です。互いに学び合う、積極的な授業参加を望みます。予習、復習が必要です。

ルーブリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) 英語と日本語の言語表現のストラテジーの違いについて説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いなく、基本的概念を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本的概念を説明できる。	説明できていない。	定期試験 (知識・理解・思考力・判断力・表現力)	30%
(2) 英語コミュニケーション方略について主体的に考え、場面や状況に応じて実践することができる。	課題を正しく認識し、ほぼ完璧に場面や状況に応じた表現を実践することができる。	課題に対する認識に誤りや大きな論理的問題もなく、場面や状況に応じた表現を実践することができる。	課題に対する認識に間違いがいくつかあるが、場面や状況に応じた表現を最低限実践することができる。	課題に対する認識に間違いがあり、場面や状況に応じた表現ができていない。	定期試験 (知識・理解・思考力・判断力・表現力)	40%
(3) 言語文化の違いについての気付き、考え方を述べることができる。	言語文化の違いについて理解し、自分の気付き、考え方を明確に述べている。	言語文化の違いについて、認識に誤りや大きな論理的問題もなく、最低限の自分の気付き、考え方を述べている。	言語文化の違いについて、認識に間違いがいくつかあるが、最低限の自分の気付き、考え方を述べている。	言語文化の違いについて、認識に間違いがあり、自分の考えを述べていない。	毎回の授業の感想・振り返り、毎回の授業課題 (関心・意欲・思考力・判断力・表現力)	30%

授業科目		対象学科・専攻		ナンバリング	年次	期別
言葉とコミュニケーション Language and Communication		全学科 (留学生対象)		23BAGE2005	2年次	前期
講義・演習・実技・実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員			実務家 教員
講義	2	選択	林 伸一			
ディプロマポリシーとの関係	何事にも誠実に取り組み、豊かな表現力と知識を持ち、誠実にコミュニケーションをとることができる社会人としてふさわしい人間性を有するとともに、専門的職業人の資質と能力を持ち合わせて、地域とともに成長していくことができる者に短期大学士の学位を授与する。					○
概要	日本語でコミュニケーションを図る際に大切なことは何だろうか？母語と日本語の言語文化の違いから日本語学習者が陥りやすい問題点に焦点を当て、読解力と会話を円滑に続けられる能力を身につけるためのストラテジー（方略）について学ぶ。					
到達目標	(1) わからない言葉の意味を聞いて、どうすればいいのか確認することができる。 (2) 頼みにくいことを丁寧に頼むことができる・感謝の気持ちを表すことができる。 (3) 事情を説明して丁寧に謝ることができる・変更をお願いすることができる。 (4) 人や物の様子を詳しく説明することができる。					
授業内容 と 進め方	回	授業内容	予習内容	予習 時間	復習内容	復習 時間
	1	お願いがあるんですが（頼みにくいことを丁寧に頼む・感謝の気持ちを表す）／畳	オリエンテーション		該当箇所の復習。	2時間
	2	何のことですか（わからない言葉の意味を聞いて、どうすればいいのか確認する）／外来語	該当箇所の予習。	2時間	該当箇所の復習。	2時間
	3	遅れそうなんです（事情を説明して丁寧に謝る・変更をお願いする）／時間よ、止まれ！	該当箇所の予習。	2時間	該当箇所の復習。	2時間
	4	伝言お願いできますか（伝言を頼む・受ける・留守番電話に伝言を残す）／電話嫌い	該当箇所の予習。	2時間	該当箇所の復習。	2時間
	5	どう行ったらいいでしょうか（行き方を尋ねる・教える・道順を尋ねる・教える）／地図	該当箇所の予習。	2時間	該当箇所の復習。	2時間
	6	行かせていただきたいんですが（許可を得たいと申し出る）／メンタルトレーニング	該当箇所の予習。	2時間	該当箇所の復習。	2時間
	7	楽しみにしています・遠慮させてください（誘いを受ける・断る）／まんじゅう、怖い	該当箇所の予習。	2時間	該当箇所の復習。	2時間
	8	迷子になっちゃったんです（人や物の様子を詳しく説明する）／科学者ってどう見える？	該当箇所の予習。	2時間	該当箇所の復習。	2時間
	9	どこが違うんですか（希望や条件を伝える・比較し選択する）／カラオケ	該当箇所の予習。	2時間	該当箇所の復習。	2時間

	10	そんなはずはありません（誤解されたことに冷静に反応する）／記憶型と注意型	該当箇所の予習。	2 時間	該当箇所の復習。	2 時間
	11	お勧めのところ、ありませんか（提案する・提案を受け入れる）／白川郷の黄金伝説	該当箇所の予習。	2 時間	該当箇所の復習。	2 時間
	12	ご迷惑をかけてすみませんでした（謝る・事情を説明する）／日本で暮らす（座談会）	該当箇所の予習。	2 時間	該当箇所の復習。	2 時間
	13	まとめと復習（弱点補強） 1	既習事項まとめ。	2 時間	該当箇所の復習。	2 時間
	14	まとめと復習（弱点補強） 2	既習事項まとめ。	2 時間	該当箇所の復習。	2 時間
	15	まとめと復習（弱点補強） 3	既習事項まとめ。	2 時間	該当箇所の復習。	2 時間
* 1 レッスン 1 課を目安としていますので予習、復習をしっかりとして授業に臨むこと。						
成績評価	定期試験（80%）、小テスト（20%）					
課題（試験・レポート等）に対するフィードバックの方法	小テストを採点し、返却時に間違った箇所を解説する。 課題の作文などを添削し、返却時に誤用例や模範例を示して解説する。					
テキストおよび参考文献	小テストとして、日本語能力試験問題集などを用いる					
メッセージなど	日本語と日本文化に興味を持って、会話練習などの活動に積極的に授業参加されることを望みます。予習、復習が必要です。					

ルーブリック評価を用いた成績評価

到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) わからない言葉の意味を聞いて、どうすればいいのか確認することができる。	ほぼ完璧に確認できる。	大きな間違いなく、確認できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の確認はできる。	確認することができない。	定期試験 (知識・理解)	20%
	ほぼ完璧に確認できる。	大きな間違いなく、確認できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の確認はできる。	確認することができない。	小テスト (知識・理解)	5%
(2) 頼みにくいことを丁寧に頼むことができる・感謝の気持ちを表すことができる。	ほぼ完璧に依頼し、感謝することができる。	大きく礼を失することなく依頼し、感謝できる。	表現上の間違いはいつくかあるが、おおよそ依頼し、感謝できる。	依頼し、感謝することができない。	定期試験 (知識・理解)	20%
	ほぼ完璧に依頼し、感謝することができる。	大きく礼を失することなく依頼し、感謝できる。	表現上の間違いはいつくかあるが、おおよそ依頼し、感謝できる。	依頼し、感謝することができない。	小テスト (知識・理解)	5%
(3) 事情を説明して丁寧に謝ることができる・変更をお願いすることができる。	ほぼ完璧に事情説明し謝れる。変更依頼ができる。	大きな間違いなく事情説明し謝れる。変更依頼ができる。	表現上の間違いはいつくかあるが、おおよそ事情を説明し、変更できる。	事情を説明して丁寧に謝ることができない。変更をお願い出ることができない。	定期試験 (態度・表現力・判断力)	20%
	ほぼ完璧に事情説明し謝れる。変更依頼ができる。	大きな間違いなく事情説明し謝れる。変更依頼ができる。	表現上の間違いはいつくかあるが、おおよそ事情を説明し、変更できる。	事情を説明して丁寧に謝ることができない。変更をお願い出ることができない。	小テスト (態度・表現力・判断力)	5%
(4) 人や物の様子を詳しく説明することができる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いなく説明できる。	表現上の間違いはいくつかあるが、ほぼ説明できる。	人や物の様子を詳しく説明することができない。	定期試験 (態度・表現力・判断力)	20%
	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いなく説明できる。	表現上の間違いはいくつかあるが、ほぼ説明できる。	人や物の様子を詳しく説明することができない。	小テスト (態度・表現力・判断力)	5%

授業科目		対象学科・専攻		ナンバリング	年次	期別
英語会話 English Conversation		全学科		23BAFL1001	1年次	通年
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業 認定	担当教員			実務家 教員
演習	2	必修	Inkster Ryan			
ディプロマ ポリシー との関係	何事にも誠実に取り組み、豊かな表現力と知識を持ち、誠実にコミュニケーションをとることができる社会人としてふさわしい人間性を有すとともに、専門的職業人の資質と能力を持ち合わせて、地域とともに成長していくことができる者に短期大学士の学位を授与する。					○
概要	(概要)様々な状況における実用的な英語会話能力を養成する。正確な発音や文法よりも、コミュニケーション能力の養成を重視する。読む・書く作業も若干含む。 (目標)自己紹介、人物や服装の描写ができる、事物の比較ができる、好みについて表現できる、能力について述べられる、自由時間の使い方・好き嫌いについて表現できる、道順を教えたり理解したりできる、過去の出来事について話せる、指示を与えたり、規則について話したり、助言を与えたりできる。					
到達目標	(1) 英会話に役に立つ語彙や文法を学ぶ (2) 英語を聞く力を養う。 (3) さまざまなトピックで英会話を練習する					
授業内容 と 進め方	回	授業内容	予習内容	予習 時間	復習内容	復習 時間
	1	(Assessment & Placement) 英会話レベル判定	中高英語内容の復習	2時間	中高英語内容の復習	2時間
	2	Japanese Sports and clubs (スポーツ)	Pg. 5 読む	2時間	Pg.6 読む	2時間
	3	Japanese Sports and clubs (スポーツ)	Pg. 7 読む	2時間	Pg8-9 読む	2時間
	4	Japanese Music (音楽)	Pg 11 読む	2時間	Pg12 読む	2時間
	5	Japanese Music (音楽)	Pg. 13 読む	2時間	Pg. 14-15 読む	2時間
	6	Japanese Food (食べ物)	Pg. 17 読む	2時間	Pg. 18 読む	2時間
	7	Japanese Food (食べ物)	Pg. 19 読む	2時間	Pg 20-21 読む	2時間
	8	Japanese Holidays (祝日)	Pg 29 読む	2時間	Pg. 30 読む	2時間
	9	Japanese Holidays (祝日)	Pg 31 読む	2時間	Pg. 32-33 読む	2時間
	10	Japanese Games	Pg. 35 読む	2時間	Pg. 36 読む	2時間
	11	Japanese Games	Pg. 37 読む	2時間	Pg. 38-39 読む	2時間
	12	Famous Cities (観光)	Pg. 41 読む	2時間	Pg. 42 読む	2時間
	13	Famous Places (観光)	Pg. 43 読む	2時間	Pg. 44-45 読む	2時間
	14	REVIEW (復習)	コミュニケーション サマリー 学習	2時間	コミュニケーション サマリー 学習	2時間
	15	REVIEW (復習)	コミュニケーション サマリー 学習	2時間	コミュニケーション サマリー 学習	2時間
	TEST(復習)					
回	授業内容	予習内容	予習 時間	復習内容	復習 時間	
16	(Assessment & Placement) 英会話レベル判定	中高英語内容の復習	2時間	中高英語内容の復習	2時間	

	17	Japanese Sports and clubs (スポーツ)	Pg. 5 読む	2 時間	Pg.6 読む	2 時間
	18	Japanese Sports and clubs (スポーツ)	Pg. 7 読む	2 時間	Pg8-9 読む	2 時間
	19	Japanese Music (音楽)	Pg 11 読む	2 時間	Pg12 読む	2 時間
	20	Japanese Music (音楽)	Pg. 13 読む	2 時間	Pg. 14-15 読む	2 時間
	21	Japanese Food (食べ物)	Pg. 17 読む	2 時間	Pg. 18 読む	2 時間
	22	Japanese Food (食べ物)	Pg. 19 読む	2 時間	Pg 20-21 読む	2 時間
	23	Japanese Holidays (祝日)	Pg 29 読む	2 時間	Pg. 30 読む	2 時間
	24	Japanese Holidays (祝日)	Pg 31 読む	2 時間	Pg. 32-33 読む	2 時間
	25	Japanese Games	Pg. 35 読む	2 時間	Pg. 36 読む	2 時間
	26	Japanese Games	Pg. 37 読む	2 時間	Pg. 38-39 読む	2 時間
	27	Famous Cities (観光)	Pg. 41 読む	2 時間	Pg. 42 読む	2 時間
	28	Famous Places (観光)	Pg. 43 読む	2 時間	Pg. 44-45 読む	2 時間
	29	REVIEW (復習)	コミュニケーションサマリー 学習	2 時間	コミュニケーションサマリー 学習	2 時間
	30	REVIEW (復習)	コミュニケーションサマリー 学習	2 時間	コミュニケーションサマリー 学習	2 時間
TEST(復習)						
成績評価	その他 (100%)					
課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法	マンツーマンインタビュー					
テキストおよび参考文献	Explain It: Talking about Japanese Culture in English. Robert Long. Perceptia Press, Nagoya. ISBN: 9784939130793					
メッセージ	ネイティブ講師による基礎的な日常会話 (コミュニケーション) 授業					

ルーブリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) 英会話に役に立つ語彙や文法を学ぶ	ほぼ完璧に学ぶことができる。	あまり問題なくできる。	少しは問題があるが、最低限はできる。	語彙や文法を学ぶことができない。	その他	34%
(2) 英語を聞く力を養う	ほぼ完璧に学ぶことができる	あまり問題なくできる。	少しは問題があるが、最低限はできる。	聞く力を養うことができない。	その他	33%
(3) さまざまなトピックで英会話を練習する	ほぼ完璧に学ぶことができる	あまり問題なくできる。	少しは問題があるが、最低限はできる。	英会話ができない。	その他	33%

授業科目		対象学科・専攻		ナンバリング	年次	期別
英語会話 English Conversation		全学科		23BAFL1001	1年次	通年
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業 認定	担当教員			実務家 教員
演習	2	必修	大野 厚子			
ディプロマ ポリシー との関係	何事にも誠実に取り組み、豊かな表現力と知識を持ち、誠実にコミュニケーションをとることができる社会人としてふさわしい人間性を有すとともに、専門的職業人の資質と能力を持ち合わせて、地域とともに成長していくことができる者に短期大学士の学位を授与する。					○
概 要	英語学習初心者を対象とする。英語の基礎から紹介していく。					
到達目標	(1) 学習者が英語に抵抗がなくなり、慣れ親しむことができる。 (2) 会話に必要な語彙を楽しく学んで、身につけることができる。 (3) 文法を会話の中で自然に使うことができる					
授業内容 と 進め方	回	授業内容	予習内容	予習 時間	復習内容	復習 時間
	1	(Assessment 1 & Placement)	P10,11 をやる。	1 時間	NA	
	2	Daily Life	P16,17 をやる。	1 時間	Dialog を練習する。	0.5 時間
	3	Weekend Events-	P22,23 をやる。	1 時間	Dialog を練習する	0.5 時間
	4	Small Talk	P30,31 をやる。	1 時間	Dialog を練習する	0.5 時間
	5	Likes and Dislikes	P36,37 をやる。	1 時間	Dialog を練習する	0.5 時間
	6	Student Life	P42,43 をやる。	1 時間	Dialog を練習する	0.5 時間
	7	Family	P52,53 をやる。	1 時間	Dialog を練習する	0.5 時間
	8	Friends	P60,61 をやる。	1 時間	Dialog を練習する。	0.5 時間
	9	Going Out	P66,67 をやる。	1 時間	Dialog を練習する。	0.5 時間
	10	Restaurants	P74,75 をやる。	1 時間	Dialog を練習する。	0.5 時間
	11	Shopping	P80,81 をやる。	1 時間	Dialog を練習する。	0.5 時間
	12	Strengths and Weaknesses	P86,87 をやる。	1 時間	Dialog を練習する。	0.5 時間
	13	Places	P94,95 をやる。	1 時間	Dialog を練習する。	0.5 時間
	14	Vacations	P100,101 をやる。	1 時間	Dialog を練習する。	0.5 時間
	15	Experiences	P106,107 をやる。	1 時間	Dialog を練習する。	0.5 時間
	回	授業内容	予習内容	予習 時間	復習内容	復習 時間
16	Hi, is this seat taken?	日本語の表現 を調べる。	1 時間	NA		
17	That's a lovely T-shirt.	日本語の表現 を調べる。	1 時間	Dialog を練習する。	0.5 時間	

	18	Pardon?	日本語の表現を調べる。	1 時間	Dialog を練習する	0.5 時間
	19	I really enjoyed it.	日本語の表現を調べる。	1 時間	Dialog を練習する	0.5 時間
	20	Is that right?	日本語の表現を調べる。	1 時間	Dialog を練習する	0.5 時間
	21	How about you?	日本語の表現を調べる。	1 時間	Dialog を練習する	0.5 時間
	22	Thank you so much.	日本語の表現を調べる。	1 時間	Dialog を練習する	0.5 時間
	23	Excuse me, but...	日本語の表現を調べる。	1 時間	Dialog を練習する。	0.5 時間
	24	This is my fault.	日本語の表現を調べる。	1 時間	Dialog を練習する。	0.5 時間
	25	I'd rather not say.	日本語の表現を調べる。	1 時間	Dialog を練習する。	0.5 時間
	26	Could you tell me the way to the station?	日本語の表現を調べる。	1 時間	Dialog を練習する。	0.5 時間
	27	How about next Sunday?	日本語の表現を調べる。	1 時間	Dialog を練習する。	0.5 時間
	28	I'll think about it.	日本語の表現を調べる。	1 時間	Dialog を練習する。	0.5 時間
	29	That's a good idea, but...	日本語の表現を調べる。	1 時間	Dialog を練習する。	0.5 時間
	30	I'd better be going.	日本語の表現を調べる。	1 時間	Dialog を練習する。	0.5 時間
成績評価	定期試験 (100%)					
課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法	発表させてその時にコメントを言う。					
テキストおよび参考文献	Free Talking: Basic Strategies for Building Communication Keep Talking					
メッセージなど						

ループリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) 学習者が英語に抵抗がなくなり、慣れ親しむことができる。	ほぼ完璧にできる。	あまり躊躇なく、できる。	少しは抵抗があるが、最低限はできる。	慣れ親しむことはできない。	定期試験 (知識・理解・技能)	30%
(2) 会話に必要な語彙を楽しく学んで、身につけることができる。	ほぼ完璧にできる。	大きな間違いがなく、身につけることができる。	間違いはあるが、最低限を身につけることはできる。	身につけることができない。	定期試験 (知識・理解・技能)	30%
(3) 文法を会話の中で自然に使うことができる。	ほぼ完璧にできる。	大きな間違いなく、使うことができる。	間違いはあるが、最低限を使うことはできる。	文法を会話で使うことはできない。	定期試験 (知識・理解・技能)	40%

授業科目		対象学科・専攻		ナンバリング	年次	期別
ハングル Korean Language		全学科		23BAFL1002	1年次	通年
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業 認定	担当教員			実務家 教員
演習	2	選択	朴賢珠			
ディプロマ ポリシー との関係	何事にも誠実に取り組み、豊かな表現力と知識を持ち、誠実にコミュニケーションをとることができる社会人としてふさわしい人間性を有するとともに、専門的職業人の資質と能力を持ち合わせて、地域とともに成長していくことができる者に短期大学士の学位を授与する。					○
概 要	ハングルの文字や基礎文法を学びながら日韓の文化について考えるようになる。韓国人留学生と一緒に勉強することで異文化コミュニケーションを図る授業になる。					
到達目標	(1) ハングル文字の書き方や読み方を学び、単語や表現の読み書きができる。 (2) 韓国人留学生との交流を通して日韓の文化理解を深める。 (3) ハングルの基本的な文法を学び、応用できる。 (4) 学習した単語や表現を使って簡単な韓国語会話ができる。					
授業内容 と 進め方	回	授業内容	予習内容	予習 時間	復習内容	復習 時間
	1	ハングルの仕組み① 文字の組み合わせパターン	テキスト2～3ページ を読んでおく。	2時間	テキスト2～3ページ を復習する。	2時間
	2	ハングルの仕組み② 基本母音	テキスト4～5ページ を読んでおく。	2時間	テキスト4～5ページ を復習する。	2時間
	3	ハングルの仕組み③ 基本子音	テキスト6～7ページ を読んでおく。	2時間	テキスト6～7ページ を復習する。	2時間
	4	ハングルの仕組み④ 濃音	テキスト8～10ページ を読んでおく。	2時間	テキスト8～10ページ を復習する。	2時間
	5	ハングルの仕組み⑤ 複合母音	テキスト13～14ページ を読んでおく。	2時間	テキスト13～14ページ を復習する。	2時間
	6	ハングルの仕組み⑥ パッチム (1)	テキスト15～17ページ を読んでおく。	2時間	テキスト15～17ページ を復習する。	2時間
	7	ハングルの仕組み⑦ パッチム (2)	テキスト15～17ページ を読んでおく。	2時間	テキスト15～17ページ を復習する。	2時間
	8	日本語のハングル表記	テキスト18～20ページ を読んでおく。	2時間	テキスト18～20ページ を復習する。	2時間
	9	ハングルの仕組みのまとめ	テキスト19～20ページ を読んでおく。	2時間	テキスト19～20ページ を復習する。	2時間
	10	中間テスト	テスト範囲を勉強し ておく。	2時間	テスト範囲をま とめる。	2時間

11	視聴覚教育・映画観賞① －前半－	テーマに沿って事前調査をしておく	2時間	テーマに沿って事前調査をする。	2時間
12	視聴覚教育・映画観賞② －後半－	テーマに沿って事前調査をしておく	2時間	テーマに沿って事前調査をする。	2時間
13	「名詞+です」文の作り方	テキスト36～37ページを読んでおく。	2時間	テキスト36～37ページを復習する。	2時間
14	「名詞+ですか」文の作り方	テキスト38～39ページを読んでおく。	2時間	テキスト38～39ページを復習する。	2時間
15	まとめ	テキスト23～42ページを読んでおく。	2時間	テキスト23～42ページを復習する。	2時間
回	授業内容	予習内容	予習時間	復習内容	復習時間
16	前期の復習① 1回目	テキスト4～21ページを読んでおく。	2時間	前期の復習① 1回目	2時間
17	前期の復習② 2回目	テキスト23～42ページを読んでおく。	2時間	前期の復習② 2回目	2時間
18	動詞・形容詞の丁寧形① 「です/ます形」	テキスト46～47ページを読んでおく。	2時間	動詞・形容詞の丁寧形① 「です/ます形」	2時間
19	動詞・形容詞の丁寧形② 「ですか/ますか形」	テキスト54～57ページを読んでおく。	2時間	動詞・形容詞の丁寧形② 「ですか/ますか形」	2時間
20	視聴覚教育	テーマに沿って事前調査をしておく。	2時間	視聴覚教育	2時間
21	助詞のまとめ	テキスト48～49ページを読んでおく。	2時間	助詞のまとめ	2時間
22	中間テスト	テスト範囲を勉強しておく	2時間	中間テスト	2時間
23	指示代名詞を使った表現	テキスト58～59ページを読んでおく。	2時間	指示代名詞を使った表現	2時間
24	人称代名詞を使った表現	テキスト60～61ページを読んでおく。	2時間	人称代名詞を使った表現	2時間
25	「イダ」否定形	テキスト62～63ページを読んでおく。	2時間	「イダ」否定形	2時間
26	動詞・形容詞の前置否定形	テキスト66～69ページを読んでおく。	2時間	動詞・形容詞の前置否定形	2時間
27	動詞・形容詞の後置否定形	テキスト66～69ページを読んでおく。	2時間	動詞・形容詞の後置否定形	2時間
28	否定形のまとめ	テキスト70～71ページを読んでおく。	2時間	否定形のまとめ	2時間
29	尊敬形	テキスト72～77ページを読んでおく。	2時間	尊敬形	2時間
30	まとめ	テキスト46～77ページを読んでおく。 2時間	2時間	まとめ	2時間

成績評価	定期試験 (25%)、課題・レポート (35%)、授業への取り組み (25%)、発表・プレゼンテーション (15%)
課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法	試験や課題及びレポートは、チェックして次の授業時に渡す。
テキストおよび参考文献	朴 賢珠 他「サランヘヨ！ハングルー初級から中級へー」白帝社、2015年
メッセージなど	山口は韓国と深いつながりがある場所です。 韓国の留学生と一緒にハングルを勉強しましょう。

ループリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) ハングル文字の書き方や読み方を学び、単語や表現の読み書きができる。	ほぼ完璧にできる	大きな間違いがなく、読み書きができる	最低限の読み書きができる	読み書きができない。	定期試験 (関心・意欲・知識)	10%
	ほぼ完璧にできる	大きな間違いがなく、読み書きができる	最低限の読み書きができる	読み書きができない。	課題・レポート (関心・意欲・知識)	10%
(2) 韓国人留学生との交流を通して日韓の文化理解を深める。	発表や発言など積極的に参加する	発表や発言などに積極的ではないが参加する	発表や発言などに部分的に参加する	発表や発言などに参加しない	課題・レポート (意欲・理解・表現力)	10%
	発表や発言など積極的に参加する	発表や発言などに積極的ではないが参加する	発表や発言などに部分的に参加する	発表や発言などに参加しない	授業への取り組み (意欲・理解・思考力)	10%
(3) ハングルの基本的な文法を学び、応用できる。	ほぼ完璧にできる	大きな間違いがなく、応用できる	最低限の文法の応用ができる	文法の応用ができない。	定期試験 (知識・理解・表現力)	15%
	ほぼ完璧にできる	大きな間違いがなく、応用できる	最低限の文法の応用ができる	文法の応用ができない。	課題・レポート 課題・レポート (意欲・理解・表現力)	15%
(4) 学習した単語や表現を使って簡単な韓国語会話ができる。	ほぼ完璧にできる	大きな間違いがなく、韓国語会話ができる	最低限の会話ができる	簡単な韓国語会話ができない。	授業への取り組み (意欲・理解・思考力)	15%
	ほぼ完璧にできる	大きな間違いがなく、韓国語会話ができる	最低限の会話ができる	簡単な韓国語会話ができない。	発表・プレゼンテーション(知識・理解・表現力)	15%

授業科目		対象学科・専攻		ナンバリング	年次	期別
日本語（留学生対象） Japanese Language		全学科		23BAFL1003	1年次	通年
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業 認定	担当教員			実務家 教員
演習	2	選択	林 伸一			
ディプロマ ポリシー との関係	何事にも誠実に取り組み、豊かな表現力と知識を持ち、誠実にコミュニケーションをとることができる社会人としてふさわしい人間性を有するとともに、専門的職業人の資質と能力を持ち合わせて、地域とともに成長していくことができる者に短期大学士の学位を授与する。					○
概 要	<p>基本的な日常会話力、コミュニケーション能力を身につける。</p> <p>日本語の特色を理解する。</p> <p>日本語能力試験等の資格を取得する。</p> <p>日本の生活習慣・ものの考え方・風習・文化の違いを知ることによって、自国と日本の関係への理解を深め、国際社会を生きる力を培う。</p>					
到達目標	<p>(1) 基本文型を理解し、留学生生活を支える基礎的な日常会話ができる。</p> <p>(2) カタカナ・ひらがな・教育漢字をマスターし、平易な文章の読み書きができる。</p> <p>(3) 敬語・オノマトペ・慣用句など、日本語の特色を知り、会話の中で使うことができる。</p> <p>(4) 1級または2級の日本語能力試験の資格取得を目標とする。</p>					
授業内容 と 進め方	回	授業内容	予習内容	予習 時間	復習内容	復習 時間
	1	オリエンテーション、学習 のすすめ方			「テキスト日常会話 1課の和訳暗誦」「自 己紹介文」	2時間
	2	日常会話の基礎①－自己紹 介、挨拶、基本会話	「日常会話 1 課和 訳」「自己紹介」「目 的別の自己紹介文下 書」	2時間	「会話 1 課暗誦」「自 己紹介文清書」「日常 生活基本語①を覚え る」	2時間
	3	日常会話の基礎②－日常生 活の基本語彙	「会話 2 課」「基本語 ①のテスト」	2時間	「会話 2 課」「基本語 ①誤答再学習」	2時間
	4	日本語の文字－ひらがな、 カタカナ、漢字、	「50 音図」「会話 3 課」「基本語②」	2時間	「50 音図再学習プリ ント」「会話 3 課」「基 本語②」	2時間
	5	日本語の発音・イントネー ション	「会話 4 課」「基本語 ③」「漢字 1026 字へ の挑戦テスト①」	2時間	「会話 4 課」「基本語 ③」「漢字再問題①」	2時間
	6	日常会話の基本単語①－発 音練習－	「会話 5 課」「基本語 ④」「漢字②」	2時間	「会話 5 課」「基本語 ④」「漢字②」	2時間
	7	日本語能力試験への対応の 仕方①	「会話 6 課」「基本語 ⑤」「漢字③」「日本 語能力試験 2 級練習 問題」	2時間	「会話 6 課」「基本語 ⑤」「漢字③」「日本 語能力試験 2 級復習 ①」	2時間
	8	日常会話の基本文形①－ 5 W 1 H	「会話 7 課」「基本語 ⑥」「漢字④」「日本 語能力試験②」	2時間	「会話 7 課」「基本語 ⑥」「漢字④」「日本 語能力試験②」	2時間
	9	日常会話の基本文形②－動 詞の活用－	「会話 8 課」「基本語 ⑦」「漢字⑤」「日本 語能力試験③」	2時間	「会話 8 課」「基本語 ⑦」「漢字⑤」「日本 語能力試験③」	2時間
	10	日常会話の基本文形③－過 去、現在、未来－	「会話 9 課」「基本語 ⑧」「漢字⑥」「日本 語能力試験④」	2時間	「会話 9 課」「基本語 ⑧」「漢字⑥」「日本 語能力試験④」	2時間

11	日常会話の基本文形④－希望、意思・推量の言い方－	「会話 10 課」「基本語⑨」「漢字⑦」「日本語能力試験⑤」	2 時間	「会話 10 課」「基本語⑨」「漢字⑦」「日本語能力試験⑤」	2 時間
12	日常会話の基本文形⑤－否定、疑問	「会話 11 課」「基本語⑩」「漢字⑧」「日本語能力試験⑥」	2 時間	「会話 11 課」「基本語⑩」「漢字⑧」「日本語能力試験⑥」	2 時間
13	日常会話の基本文形⑥－使役・可能・受身・自発、経験	「会話 12 課」「基本語⑪」「漢字⑨」「日本語能力試験⑦」	2 時間	「会話 12 課」「基本語⑪」「漢字⑨」「日本語能力試験⑦」	2 時間
14	日本語の特色①－補助用語・複合語－	「会話 13 課」「基本語⑫」「漢字⑩」「日本語能力試験⑧」	2 時間	「会話 13 課」「基本語⑫」「漢字⑩」「日本語能力試験⑧」	2 時間
15	日本語の特色②－敬語－	「会話 14 課」「基本語⑬」「漢字⑪」「日本語能力試験⑨」	2 時間	「会話 14 課」「基本語⑬」「漢字⑪」「日本語能力試験⑨」	2 時間
回	授業内容	予習内容	予習時間	復習内容	復習時間
16	学習のすすめ方、前期の学習の復習	「会話 15 課」「基本語⑭」「漢字⑫」「日本語能力試験⑩」		「会話 15 課」「基本語⑭」「漢字⑫」「日本語能力試験⑩」	2 時間
17	日本語能力試験への対応②－語彙・文字－	「会話 16 課」「基本語⑮」「漢字⑬」「日本語能力試験⑪」	2 時間	「会話 16 課」「基本語⑮」「漢字⑬」「日本語能力試験⑪」	2 時間
18	日本語能力試験への対応③－聴解－	「会話 17 課」「基本語⑯」「漢字⑭」「日本語能力試験⑫」	2 時間	「会話 17 課」「基本語⑯」「漢字⑭」「日本語能力試験⑫」	2 時間
19	日本語能力試験への対応④－文法－	「会話 18 課」「基本語⑰」「漢字⑮」「日本語能力試験⑬」	2 時間	「会話 18 課」「基本語⑰」「漢字⑮」「日本語能力試験⑬」	2 時間
20	日本語能力試験への対応⑤－読解－	「会話 19 課」「基本語⑱」「漢字⑯」「日本語能力試験⑭」	2 時間	「会話 19 課」「基本語⑱」「漢字⑯」「日本語能力試験⑭」	2 時間
21	日本語の特色③－慣用語、ことわざ－	「会話 20 課」「基本語⑲」「漢字⑰」「日本語能力試験⑮」	2 時間	「会話 20 課」「基本語⑲」「漢字⑰」「日本語能力試験⑮」	2 時間
22	日本語の特色④－部首・同音異義語－	「会話 21 課」「基本語⑳」「漢字⑱」「日本語能力試験⑯」	2 時間	「会話 21 課」「基本語⑳」「漢字⑱」「日本語能力試験⑯」	2 時間
23	日本語の特色⑤－オノマトペ・ことわざ・慣用句－	「会話 22 課」「漢字⑲」「日本語能力試験⑰」	2 時間	「会話 22 課」「漢字⑲」「日本語能力試験⑰」	2 時間
24	日本語の特色⑥－方言と共通語－	「会話 23 課」「漢字⑳」「日本語能力試験⑱」	2 時間	「会話 23 課」「漢字⑳」「日本語能力試験⑱」	2 時間
25	日本の国語教科書①－教科書概観・音読－	「会話 24 課」「漢字㉑」「日本語能力試験⑲」	2 時間	「会話 24 課」「漢字㉑」「日本語能力試験⑲」	2 時間
26	日本の国語教科書②－教科書輪読－	「会話 25 課」「漢字㉒」「日本語能力試験⑳」	2 時間	「会話 25 課」「漢字㉒」「日本語能力試験⑳」	2 時間
27	日本の国語教科書③－教科書発表－	「漢字㉓」「教科書音読」「日本語能力試験㉑」	2 時間	「漢字㉓」「教科書音読」「日本語能力試験㉑」	2 時間
28	日本語によるスピーチ①－スピーチ原稿作成－	「漢字㉔」「教科書音読・練習」「日本語能力試験㉒」	2 時間	「漢字㉔」「教科書視写」「日本語能力試験㉒」	2 時間
29	日本語によるスピーチ②－発表－	「漢字㉕」「スピーチ原稿下書」「日本語能力試験㉓」	2 時間	「漢字㉕」「スピーチ原稿暗誦」「日本語能力試験㉓」	2 時間

	30	日本語によるスピーチ③－ 発表－	「スピーチ練習」 （「日本語能力試験 ②4」	2時間	「スピーチ原稿清 書」「日本語能力試験 ②4」	2時間
成績評価	定期試験、発表・プレゼンテーション（70%）、小テスト（30%）					
課題（試験・レポート等）に対するフィードバックの方法	毎回の授業の小テストを自己採点し、結果を記録表に記録。誤答を再試験する。ルーブリック評価に基づいて、再指導・再テストを行う。					
テキストおよび参考文献	テキスト：テキスト・プリントをその都度配布					
メッセージなど	日本での生活を充実したものにするためには、日本語の習得がなにより大事です。日常会話力を身につける中で、日本の文化や風習、日本人の国民性などへの理解を深め、国際交流を楽しんでほしいと願っています。					

ルーブリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) 基本文型を理解し、留学生活を支える基礎的な日常会話ができる。	ほぼ完璧にできる。	聞き取ることが完璧にでき、話すこともほぼできる。	間違いはあるが、最低限の会話はできる。	日常会話ができない。	定期試験 （態度・創造性・判断力）	30%
	ほぼ完璧にできる。	聞き取ることが完璧にでき、話すこともほぼできる。	間違いはあるが、最低限の会話はできる。	日常会話ができない。	発表・プレゼンテーション （態度・創造性・判断力）	
(2) カタカナ・ひらがな・教育漢字をマスターし、平易な文章の読み書きができる。	ほぼ完璧にできる。	間違いはあるがほぼできる。	間違いは多いが、最低限の基本的なことはできる。	平易な文章の取の読み書きも難しい。	小テスト （知識・理解）	30%
(3) 敬語・オノマトペ・慣用句など、日本語の特色を知り、会話の中で使うことができる。	意味を理解し、積極的に会話の中で使うことができる。	基本的なことは理解しているが、使いこなすことはできない。	聞き取ることができるが使うことはできない。	会話の中で使うことはできない。	定期試験 （知識・理解）	20%
(4) 最低2級の日本語能力試験の資格を取得する。	能力試験2級に合格している。	校内2級試験に合格している。	3級レベルには到達している。	3級レベルにも到達していない。	定期試験 （知識・理解）	20%

授業科目		対象学科・専攻		ナンバリング	年次	期別
健康科学 Health Science		全学科		23BAHP1001	1年次	前期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業 認定	担当教員			実務家 教員
講義	1	必修	上地 広昭			
ディプロマ ポリシー との関係	何事にも誠実に取り組み、豊かな表現力と知識を持ち、誠実にコミュニケーションをとることができる社会人としてふさわしい人間性を有するとともに、専門的職業人の資質と能力を持ち合わせて、地域とともに成長していくことができる者に短期大学士の学位を授与する。					○
概 要	運動、睡眠、および食行動などの健康行動が生活習慣病に及ぼす影響を説明し、健康行動変容に関する理論・モデルを紹介する。また、健康増進のためのプログラム作りなども行い理解を深める。					
到達目標	(1) わが国における健康行動（運動、睡眠、食行動）の実施状況についての説明					
	(2) 健康行動（運動、睡眠、食行動）の重要性とそのメカニズムについての説明					
	(3) 健康行動変容の理論と実際についての説明					
授業内容 と 進め方	山口短期大学博多キャンパスを令和 3 年度より開設したことに伴い、本部山口短期大学と博多キャンパスに大型ディスプレイ、ビデオカメラ、パソコン等遠隔授業用の機器を準備し、zoom による遠隔授業を行っている。					
	回	授業内容	予習内容	予習 時間	復習内容	復習 時間
	1	イントロダクション（健康に関する用語の整理）	健康に関する身近な情報の収集	1時間	授業内容のまとめ ノート整理	1時間
	2	運動と疾病予防	運動実施状況についてのセルフモニタリング	1時間	授業内容のまとめ ノート整理	1時間
	3	運動とメンタルヘルス	ストレス解消のための運動についてレポート	1時間	授業内容のまとめ ノート整理	1時間
	4	食行動と疾病予防	日常の食事についてのセルフモニタリング	1時間	授業内容のまとめ ノート整理	1時間
	5	睡眠と疾病予防	睡眠習慣についてのセルフモニタリング	1時間	授業内容のまとめ ノート整理	1時間
	6	ダイエット行動と健康	自分のダイエット経験についてレポート	1時間	授業内容のまとめ ノート整理	1時間
	7	行動変容に関する理論	行動変容理論についての事前調べ	1時間	授業内容のまとめ ノート整理	1時間
	8	まとめ	試験準備	1時間	試験の問題の振り返り	1時間
成績評価	定期試験（100%）					
課題（試験・レポート等） に対する フィードバックの方法	事前学習で行わせる課題については、授業中に実施状況を確認し、授業の中で活用する。また、試験については、合格基準に達していない場合、再度、同様の範囲から試験を行う。					
テキストおよび 参 考 文 献	テキストの購入は必要ない					
メ ッ セ ー ジ な ど	生涯を通して健康管理を行うための知識を身につけてもらいたい。					

ルーブリック評価を用いた成績評価

到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) わが国における健康行動（運動、睡眠、食行動）の実施状況についての説明	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いなく説明できる。	最低限の基本を説明できる。	説明できていない。	定期試験 （知識・理解）	30%
(2) 健康行動（運動、睡眠、食行動）の重要性とそのメカニズムについての説明	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いなく説明できる。	最低限の基本を説明できる。	説明できていない。	定期試験 （知識・理解）	30%
(3) 健康行動変容の理論と実際についての説明	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いなく説明できる。	最低限の基本を説明できる。	説明できていない。	定期試験 （知識・理解）	40%

授業科目		対象学科・専攻		ナンバリング	年次	期別
スポーツ教育 Sport Education		全学科		23BAHP1002	1年次	前期
講義・演習・実技・実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員			実務家 教員
実技	1	必修	青山 翔			
ディプロマポリシーとの関係	何事にも誠実に取り組み、豊かな表現力と知識を持ち、誠実にコミュニケーションをとることができる社会人としてふさわしい人間性を有するとともに、専門的職業人の資質と能力を持ち合わせて、地域とともに成長していくことができる者に短期大学士の学位を授与する。					○
概要	現代社会は生涯を通じてスポーツに参加することが国民の教養の一つになっている。そのような状況をふまえて、本授業では、仲間と協力してスポーツに取り組むことを通して、生涯に渡ってスポーツに参加する意識を高めスポーツに関する基本的な知識や技能を修得する。					
到達目標	(1) 自らの技量に応じて積極的にスポーツを楽しむことができる。					
	(2) 生涯を通じてスポーツを楽しむことのできる基本的知識を修得する。					
	(3) スポーツを楽しむための基礎的な知識や技能を修得する。					
授業内容 と 進め方	回	授業内容	予習内容	予習時間	復習内容	復習時間
	1	オリエンテーション			バレーボールについて調べる。	2時間
	2	バレーボール①（基本技能やルールの確認をして試しのゲームを行う）	バレーボールの基本の確認。	2時間	バレーボールについて調べる。	2時間
	3	バレーボール②（パスに関する基本技能の練習を中心に取り組み、ゲームを行う）	次時の学習内容の確認。	2時間	学習内容の復習。	2時間
	4	バレーボール③（サーブに関する基本技能の練習を中心に取り組み、ゲームを行う）	次時の学習内容の確認。	2時間	学習内容の復習。	2時間
	5	バレーボール④（アタックに関する基本技能の練習を中心に取り組み、ゲームを行う）	次時の学習内容の確認。	2時間	学習内容の復習。	2時間
	6	バレーボール⑤（練習方法を考えてゲームを行う）	次時の学習内容の確認。	2時間	学習内容の復習。	2時間
	7	バレーボール⑥（前回のゲームの振り返りをもとに練習方法や作戦を工夫してゲームを行う）	次時の学習内容の確認。	2時間	学習内容の復習。	2時間
	8	バレーボール⑦（バレーボールの学習について振り返りを行う）	次時の学習内容の確認。	2時間	学習内容の復習。	2時間
	9	バスケットボール①（基本技能やルールの確認をして試しのゲームを行う）	バスケットボールの基本の確認。	2時間	学習内容の復習。	2時間
	10	バスケットボール②（ドリブルに関する基本技能の練習を中心に取り組み、ゲームを行う）	次時の学習内容の確認。	2時間	学習内容の復習。	2時間
	11	バスケットボール③（シュートに関する基本技能の練習を中心に取り組み、ゲームを行う）	次時の学習内容の確認。	2時間	学習内容の復習。	2時間
	12	バスケットボール④（練習方法を考えてゲームを行う）	次時の学習内容の確認。	2時間	学習内容の復習。	2時間

	13	バスケットボール⑤（前回のゲームの振り返りをもとに練習方法や作戦を工夫してゲームを行う）	次時の学習内容の確認。	2時間	学習内容の復習。	2時間
	14	バスケットボール⑥（対戦相手に合わせた作成を考えてゲームを行う）	次時の学習内容の確認。	2時間	学習内容の復習。	2時間
	15	バスケットボール⑦（バスケットボールの学習について振り返りを行う）	次時の学習内容の確認。	2時間	学習内容の復習。	2時間
成績評価	授業への取り組み（20%）、授業内レポート（30%）、ゲーム中におけるパフォーマンス評価（50%）					
課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法	基本的には実技であるため、活動中に振り返りの時間を設け、フィードバックする。					
テキストおよび参考文献	必要があれば、適宜プリントを配布する。					
メッセージなど	自分たち自らスポーツを楽しむために必要な言動を意識的に身につけるように努力してほしい。					

ルーブリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) 自らの技量に応じて積極的にスポーツを楽しむことができる。	自らの技量に応じてスポーツを楽しむことができる	自らの技量に応じてある程度スポーツを楽しむことができる	自らの技量に応じて最低限スポーツを楽しむことができる	自らの技量に応じてスポーツを楽しむことができない	授業への取り組み（関心・意欲・思考力・創造性）	20%
(2) 生涯を通じてスポーツを楽しむことのできる基本的知識を修得する。	ほぼ完璧に修得している	大きな間違いがなく修得している	最低限のことは修得している	修得していない	授業内レポート（知識・理解・思考力・判断力・表現力）	30%
(3) スポーツを楽しむための基礎的な知識や技能を修得する。	ほぼ完璧に修得している	大きな間違いがなく修得している	最低限のことは修得している	修得していない	ゲーム中におけるパフォーマンス評価（知識・理解・思考力・判断力・表現力）	50%